我 孫 子 の 教 育

－ 令 和 ８ 年 度 版 －

我 孫 子 市 教 育 委 員 会

目　次

１　我孫子市の概要……1

２　我孫子市教育施策……2

３　教育行政

（１）教育長及び教育委員…… 8

（２）教育委員会議決事項…… 9

（３）教育委員会事務局組織図…… 10

（４）事務分掌…… 11

（５）教育費当初予算年次別推移…… 14

４　教育施策と今年度の主な事業

目標Ⅰ　確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、子ども一人ひとりが
いきいきと輝く魅力ある学校づくりの推進…… 15

重点施策１　学校教育環境の充実…… 15

重点施策２　子どもがいきいきと輝く学校づくり…… 16

重点施策３　子どもの成長に応じた発達への支援…… 24

目標Ⅱ　市民が地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることが
できる環境づくりの推進…… 27

重点施策１　生涯学習環境の充実…… 27

重点施策２　歴史文化財の保存・継承と文化の振興…… 42

重点施策３　スポーツの振興…… 45

５　資料

（１）我孫子市学校教育の重点…… 48

（２）我孫子市が目指す小中一貫教育…… 49

（３）市立小中学校一覧…… 50

（４）学校紹介…… 51

（５）生涯学習関連施設一覧…… 61

（６）我孫子市内の指定・登録文化財一覧…… 62

（７）我孫子市教育行政年表…… 64

1　我孫子市の概要

地勢　我孫子市は千葉県の北西部、都心から30km圏に位置しています。面積43．15㎢の市域は、南北に約4km、東西約14kmと細長く、北側に利根川を、南側に手賀沼を望む、自然に恵まれた標高20m前後の台地と周囲の低地で形づくられた地形をなしています。

我孫子の歴史は古く、発掘調査により約3万年前から先人たちが住んでいたことが分かっています。利根川に面した縄文時代の「貝塚」や手賀沼に面した「我孫子古墳群」に遠い昔をしのぶことができます。時代の流れと共に、悠々たる歴史を育んできた我孫子に、近代化の幕が切って落とされたのは、明治29年に常磐線が開通してからのことです。鉄道が開通したことにより、大きな工場が建てられる一方、美しい自然に惹かれた当時の文人や文化人たちが競って住居や別荘を構え、経済の近代化や文化の面での活動が盛んになりました。さらに、明治34年には成田線が開通し、都心との経済的な交流もいっそう盛んになりました。昭和30年に、当時の「我孫子町」「湖北村」「布佐町」が合併し新制我孫子町となり、昭和45年7月1日に我孫子市が誕生した頃からは、急激に都市化が進んできました。市誕生当時は人口5万人弱でしたが、現在では13万人を超える人々が暮らし、首都圏の自然に恵まれた住宅都市として着実に発展しています。

我孫子の由来　「我孫子」という地名は非常に難読な地名として知られています。現在のところ、我孫子市域をさす「アビコ」として資料的に最古のものは、鎌倉時代末の正和2（1313）年の「尼しんねん譲(ゆずり)状」（土地の相続をめぐる遺言書）に「しもつさのくにあひこのむら」（下総国我孫子村）とあるものと考えられています。これにより少なくとも鎌倉時代には我孫子市域が「アビコ」として呼ばれていたことが分かります。それ以前の奈良・平安時代の公式な文書では我孫子市周辺は「下総国相馬郡」と呼ばれていて、我孫子という地名は確認されていません。

それでは、我孫子の由来とは一体どのようなものでしょうか。古代において「我孫子」は氏（ウジ）や姓（カバネ）という、血筋や職種にかかわる苗字のようなものであり、人名として使用されていました。表記は異なりますが「阿毘古」「我孫公」という人の記録が残されています。古墳時代（3世紀から7世紀）にかけて日本列島で大きな権力を有した大王（オオキミ、のちの天皇家につながっていくとされる）や大和地方の有力豪族は、各地の地方豪族を支配下に治める際に、豊かな土地を直轄地とし、そこに住む人々から貢納物を納めさせました。その際に土地やそこに住む人々に「我孫子」という名前が付けられたと考えられます。大阪や奈良をはじめ、全国各地に「我孫子」「安孫子」「吾孫子」などの地名や人名が認められるのはこのためであると思われます。

また発掘調査の成果からみると、我孫子には水神山古墳（高野山、全長69mの前方後円墳。4世紀後半。千葉県北西部地区最大の古墳）が作られ、古墳時代の早い時期から大和政権とつながった人物が居たと考えられることから、文字として残されてはいませんが、大王や大和政権との深い結びつきから「我孫子」の地名が付けられたと考えられるのです。

参考文献　市史研究センター発行「THEアビコ」

2　我孫子市教育施策

『我孫子市教育施策』は、教育委員会議の審議を経て、毎年度定めています。施策の展開に当たっては、積極的に情報を発信するなどして、市民の皆様と情報の共有を図りながら社会全体で「生きる力」をより一層育み、施策の基本方針である「個性を尊重し、互いに学び合う、学校教育並びに生涯学習の推進」を目指していきます。

令和8年度我孫子市教育施策

【基本方針】

個性を尊重し、互いに学び合う、学校教育並びに生涯学習の推進

【目標】

Ⅰ　確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、子ども一人ひとりがいきいきと輝く魅力ある学校づくりの推進

重点施策1　学校教育環境の充実

（1）安心して快適に学べる教育・学習環境の充実

○児童生徒の安全確保と防災体制・安全教育・防災教育の充実

○小中学校における学習環境の整備と充実

○我孫子市公共施設等総合管理計画に基づく学校施設の個別施設計画の推進

（2）信頼される学校づくりの推進、教職員の意識高揚を図る職場環境づくり

○学校評価・学校運営協議会制度を活用した学校経営の改善

○「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」における、学校を支える人員体制の整備の推進

○業務の適正化や校務ＤＸ[I]による業務の効率化、学校行事の内容の検討など、教職員の負担軽減に向けた取組の推進

○教職員全員で取り組む不祥事根絶対策及び不祥事が起きない職場風土の醸成

重点施策２　子どもがいきいきと輝く学校づくり

（1）確かな学力の育成

○生きて働く「知識及び技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会にいかそうとする「学びに向かう力、人間性等」の育成

○「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

○指導方法や指導体制の工夫改善による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現

○学習の基盤となる情報活用能力（情報モラルを含む）の育成と適切にICT[II]を活用した学習活動の充実

○ユニバーサルデザイン[III]の視点による全員が分かる授業づくり

○学級経営の支援（Ｑ－Ｕ検査[IV]（ＷＥＢＱＵ）の活用）と指導力の向上

○児童生徒及び教職員の学校図書館活用の推進

○外国語・外国語活動における指導力の向上及びＡＬＴの活用

（2）心身ともに健康な児童生徒の育成

○思いやりのある豊かな心、社会性を育む規範意識を醸成する人権教育、 体験活動及び道徳教育の充実

○望ましい生活習慣につながる健康教育・食育の推進

○心身の健全な発達を支える学校体育の充実

○情操豊かな心を育てる文化的行事や学習活動の支援

（3）幼児教育と小学校教育との連携・小中一貫教育の推進

○幼児教育・保育から小学校教育への円滑な接続や、いわゆる「小1プロブレム[V]」の解消などに向けた幼保小連携の推進

○郷土愛を育み、未来を拓く力と輝く心の育成を目指す、義務教育９年間を見通した小中一貫教育の推進

○中学校区ごとに目指す15歳の生徒像を基にして作成したグランドデザインを掲げ、地域の特色と人材を最大限にいかした小中一貫教育の推進

○学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる資質・能力を育成するキャリア教育の充実

（４）地域に密着した学習の場の提供

○地域性をいかした学びの資源の活用

○ふるさと学習の推進

（５）地域とともにある学校づくり

○コミュニティ・スクール（学校運営協議会[VI]の設置）による学校と地域との連携・協働の推進

○地域学校協働活動推進事業[VII]の充実

○地域の大学・高等学校との連携強化による児童生徒への学習支援の推進

○中学校部活動における地域展開の推進

（６）長期欠席児童生徒対策事業の強化

○不登校予防や解消に向けた支援体制の充実と関係機関との連携強化

○我孫子市教育支援センター（かけはし・ひだまり）の機能強化

○校内教育支援センターの充実

○自立と社会参加を目指した支援体制の整備

（７）いじめ・非行防止対策

○我孫子市いじめ防止対策推進条例に沿ったいじめの予防、早期発見と対処及び解消

○学校・市ほか関係機関との連携強化と相談窓口の充実

○街頭パトロールの実施、青少年育成団体との連携強化による少年の非行防止活動の推進

○警察・生活安全関係機関との連携強化

重点施策３　子どもの成長に応じた発達への支援

（１）一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援体制の構築

○就学支援の充実

○個々に応じた教育体制の整備

（２）教育相談・支援体制の充実

○教育相談を充実させるシステムの構築

○帰国・外国人児童生徒への支援体制の整備

（3）特別支援教育の推進

〇一人ひとりの教育的ニーズに対応した特別支援教育の推進

〇特別に支援を要する児童生徒への支援体制の充実

（4）子ども部及び健康福祉部との連携強化

〇療育・教育システムの充実と切れ目のない支援

〇児童虐待の早期発見や児童生徒の自殺防止対策等についての連携強化

Ⅱ　市民が地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができる環境づくりの推進

重点施策1　生涯学習環境の充実

（1）学びたいときに学べる学習機会の充実

〇公民館の学級・講座や生涯学習出前講座の充実

〇鳥の博物館の教育普及活動の拡充

〇図書館サービスの充実、市民の読書活動の推進

〇移動図書館車と電子図書館サービスの積極的な活用

（2）人づくり・まちづくりにつながる学習活動の支援

〇時代の変化や地域の課題に対応した学習機会の提供

〇学んだ成果を社会や地域でいかせる人材の育成・活用

〇歴史・文化資料のデジタルアーカイブ化による郷土学習の推進

（3）学習施設の整備・充実

〇公民館、図書館、鳥の博物館などの施設・機能の充実

（4）市民の学習活動を支える体制の整備

〇生涯学習推進計画に基づく施策の推進

〇生涯学習に関する情報の収集・提供・発信と相談体制の整備・充実

〇市民活動団体・NPO 法人・学校・企業等との連携強化

〇生涯学習ボランティアの育成・活用

〇子ども部等と連携した、子どもの読書活動推進計画の推進

重点施策２　歴史文化財の保存・継承と文化の振興

（1）文化芸術活動への支援と環境整備

○後援等の事業による文化芸術活動の充実

○既存施設の効率的利用の促進

（2）新たな文化芸術活動の創出

○文化芸術活動や団体に関する情報の発信

○文化芸術活動に触れる機会や参加する機会の充実

○文化芸術活動団体との協働の仕組みを見直し、新たな魅力の創出

（3）地域文化・郷土芸能の保存と継承

○生活文化や郷土芸能の聞き取りや現地踏査などの調査・研究

○生活文化や郷土芸能の継承

（4）歴史的・文化的遺産の整備・活用

○指定文化財制度や文化財登録制度による文化財の保存・活用

○文化財保存活用地域計画に基づく整備・活用の推進

（5）埋蔵文化財や歴史資料の調査・研究

○埋蔵文化財や歴史資料に関する調査・研究の推進

○埋蔵文化財や歴史資料に関する報告書・資料集等の刊行

（6）歴史的・文化的遺産に関する情報発信の拡充

○歴史的・文化的遺産を公開する場や機会の確保

○地域の歴史や文化に親しめる環境づくりの推進

重点施策３　スポーツの振興

（1）スポーツ施設の管理・整備と民間施設等の活用

○スポーツ施設の適正な維持管理

○民間スポーツ施設の活用や近隣市施設の相互利用の推進

（2）生涯スポーツの推進

○スポーツ推進委員と連携した総合型地域スポーツクラブの育成・支援

○生涯スポーツを支えるスポーツ指導者の養成

○スポーツ推進計画の推進

（3）スポーツを楽しむ機会の充実

○市民が気軽に参加できるスポーツイベント等の開催

[I] 校務ＤＸ：デジタル技術を活用して学校現場の業務（校務）を変革し、教員や学校職員の業務効率化や教育活動の質の向上を目的とした取組です。

[II] ICT（情報コミュニケーション技術）：Information and Communication Technologyの略。国のGIGAスクール構想（※）に基づき、市内小中学校の全児童生徒にタブレット端末配置と、高速通信環境を整備し、学習で活用しています。学習活動の充実や、急速に変化する情報社会に求められる能力の育成に取り組んでいます。※GIGA（ギガ）スクール構想：GIGA＝Global and Innovation Gateway for Allの略。子どもたち一人ひとりに合った学びの実現や、これまでの教育活動とともに情報通信技術を活用する取組です。

[III] ユニバーサルデザイン：学力の優劣や発達障害等の有無に関わらず、全ての児童生徒が楽しく「分かる・できる」ことを目指し、教科指導における工夫や様々な子どもへの配慮を駆使して行う授業。

[IV] Ｑ－Ｕ検査（学級診断尺度調査）：Questionnaire-Utilitiesの略。学校生活における児童・生徒個々の意欲や満足感、及び学級集団の状態を質問紙によって測定します。実施により、いじめの防止・発見、より良い学級集団づくりに活用できます。我孫子市では、小学校は、3・4・5・6年生、中学校は、1・2・3年生で実施します。

[V] 小１プロブレム：入学したばかりの１年生で、集団行動がとれない、授業中座っていられない、話を聞かないなどの状態が数か月継続する状態です。

[VI] 学校運営協議会：平成29年３月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、学校運営協議会の設置が努力義務化されています。また、「学校運営協議会を設置した学校」と定義されているコミュニティ・スクールは、「地域学校協働活動推進事業」とともに「地域とともにある学校づくり」のツールとして示されています。

[VII] 地域学校協働活動推進事業：地域学校協働活動推進員を中心とする「地域学校協働本部」を設置し、地域住民や保護者が学校支援ボランティアとなり、学習や部活動の指導などについて、学校のニーズや地域の実情に応じて学校教育活動の支援を行うとともに、学校を核とした街づくりのためのネットワークを構築するものです。

3 教育行政

令和8年11月1日現在

(1)教育長及び教育委員

職名	氏名	教育長の任期	備考
教育長	まる　のりひこ 丸　智彦	令和6年4月1日から 令和9年3月31日まで （令和3年4月1日就任）	元教職員

職名	氏名	委員の任期	備考
委員 （教育長職務代理者）	むらまつ　ひろやす 村松　弘康	令和5年12月26日から 令和9年12月25日まで （令和元年12月26日就任）	会社経営
委員	にいやま　のりよ 新山　訓代	令和7年12月22日から 令和11年12月21日まで （令和3年12月22日就任）	主婦
委員	なかむら　みちひろ 中村　通宏	令和8年10月3日から 令和12年10月2日まで （令和4年10月3日就任）	歯科医
委員	－		欠員

（2）教育委員会議決事項

① 教育行政の運営に関する基本方針を定めること。

② 教育委員会の規則、訓令及び告示（規程形式に限る。）を制定し、又は改廃すること。

③ 予算その他議会の議決を要する事件の議案について市長に意見を申し出ること。

④ 教育機関の設置及び廃止に関すること。

⑤ 教育機関の敷地を設定し、又は変更すること。

⑥ 教育機関の施設の整備計画を定めること。

⑦ 教育事務に係る特に重要な契約を締結すること。

⑧ 県費負担教職員の任免その他進退に関する内申に関すること。

⑨ 職員の任免その他の人事に関すること。

⑩ 附属機関の委員を任命し、又は委嘱すること。

⑪ 教育功労者を表彰すること。

⑫ 我孫子市立小学校設置条例（昭和39年条例第9号）第2条に規定する小学校及び我孫子市立中学校設置条例（昭和39年条例第10号）第2条に規定する中学校の通学区域を設定し、又は変更すること。

⑬ 教科用図書の採択に関すること。

⑭ 教科用図書その他の教材の取扱いの方針を定めること。

⑮ 職員の研修の実施に関する方針を定めること。

⑯ 職員団体との重要な交渉に関すること。

⑰ 請願及び陳情に関すること。

⑱ 教育委員会がその当事者である争訟に関すること。

⑲ 市文化財の指定及び解除に関すること。

⑳ 審査請求に対する裁決に関すること。

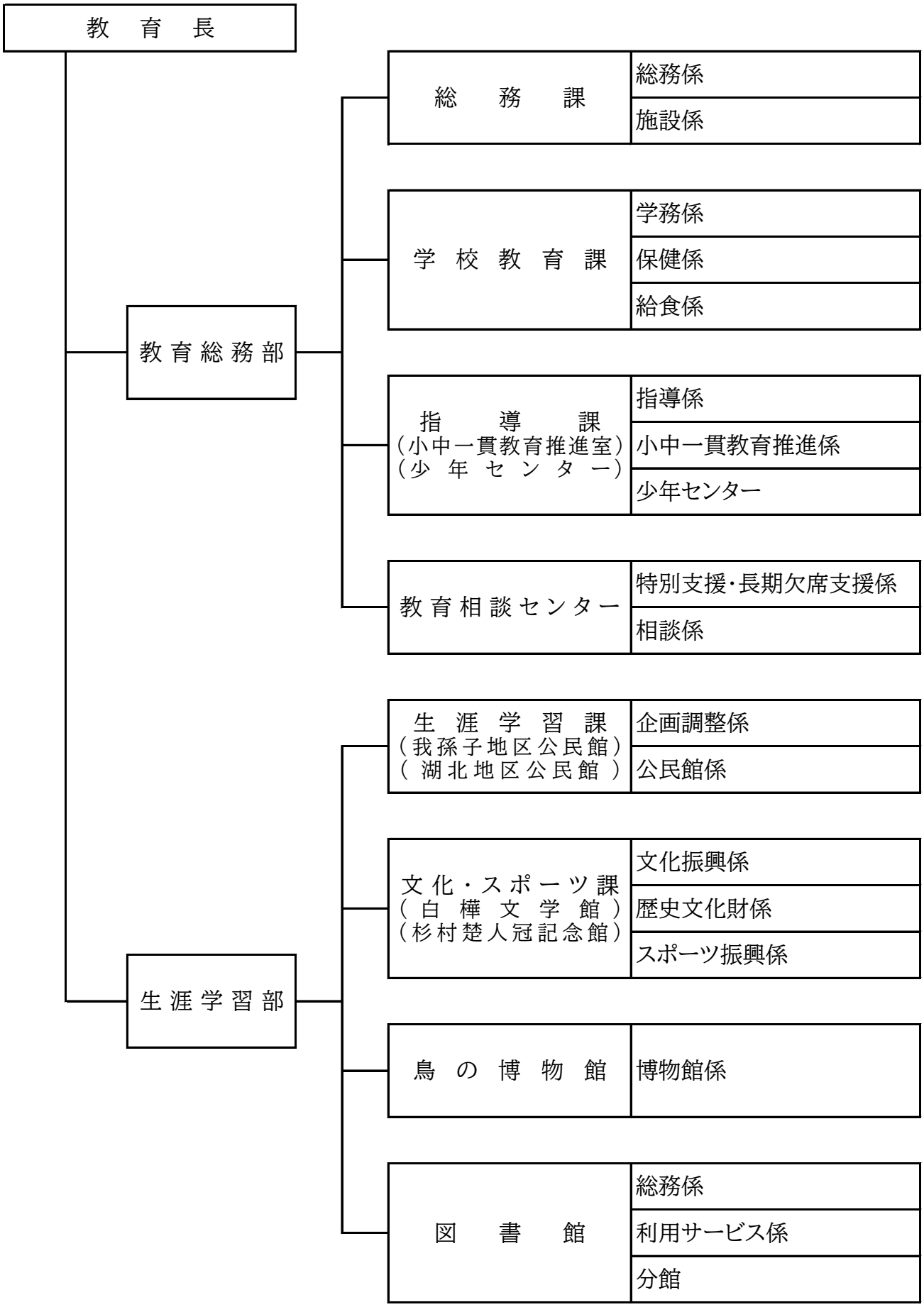
㉑ 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等に関すること。

㉒ 前各号に掲げるもののほか、重要又は異例に属する事項

我孫子市教育委員会行政組織規則（平成元年教育委員会規則第2号）抜粋

(3)教育委員会事務局組織図

（令和8年4月1日現在）



（4）事務分掌

①教育総務部

区分		事務の概目
総務課	総務係	○ 部の企画調整に関すること。 ○ 公印及び例規類の整備保管に関すること。 ○ 教育委員会議に関すること。 ○ 教育委員会の規則等の制定及び改廃に関すること。 ○ 教育委員及び教育長の秘書事務に関すること。 ○ 教育行政の施策の総括及び各課の所掌事務の連絡調整に関すること。 ○ 儀式及び顕彰に関すること。 ○ 事務局職員の定数、任免その他の人事に関すること。 ○ 文書の受発及び保管に関すること。 ○ 附属機関の委員の任命及び委嘱に関すること。 ○ 事務局職員の研修及び福利に関すること。 ○ 議会との連絡に関すること。 ○ 教育行政相談受付に関すること。 ○ 教育振興基本計画の策定及び進行管理に関すること。 ○ 教育振興基金に関すること。 ○ 情報の公開等に係る受付及び実施に関すること。 ○ 前各号に掲げるもののほか他の係に属さない事務
	施設係	○ 学校施設の整備計画に関すること。 ○ 学校施設の建築に関すること。 ○ 校地及び校舎の維持管理に関すること。 ○ 施設台帳の整備保管に関すること。 ○ 学校施設の国庫補助及び起債に関すること。
学校教育課	学務係	○ 学齢簿の編成、整備及び保管に関すること。 ○ 児童生徒の就学、転学及び退学に関すること。 ○ 児童生徒の就学援助に関すること。 ○ 児童生徒の就学免除、猶予に関すること。 ○ 通学区域の設定及び変更に関すること。 ○ 通学区域審議会に関すること。 ○ 幼児教育振興審議会に関すること。 ○ 学校の設置及び廃止に関すること。 ○ 県費負担教職員の任免その他の進退に関する内申及び服務に関すること。 ○ 学校の組織及び編制に関すること。 ○ 学校の教材、備品等の整備に関すること。 ○ 備品台帳等財産台帳の整備に関すること。 ○ 学校に対する予算配分及び執行に関すること。 ○ 学校教育に係る国庫補助及び県費補助に関すること。 ○ 学校教育に係る調査及び統計に関すること。 ○ 県費負担教職員の福利厚生に関すること。
	保健係	○ 学校に勤務する職員及び児童生徒の健康診断に関すること。 ○ 学校医、学校歯科医、学校薬剤師等に関すること。 ○ 学校保健及び学校安全に関すること。 ○ 学校教育施設の環境衛生に関すること。 ○ 日本スポーツ振興センターに関すること。
	給食係	○ 学校給食の運営に関すること。 ○ 学校給食の衛生管理に関すること。

区分		事務の概目
指導課 （小中一貫教育推進室）	指導係	○ 学校経営及び学校教育の指導援助に関すること。 ○ 教育課程及び学習に関すること。 ○ 生徒指導及び教科外活動の指導助言に関すること。 ○ 教科用図書の採択に関すること。 ○ 研究校その他研究機関の指導助言に関すること。 ○ 教職員の研修に関すること。 ○ コンピュータ教育に関すること。 ○ 進路指導に関すること。 ○ 学校の連合行事に関すること。 ○ 学校体育の振興に関すること。 ○ 学校教育におけるいじめに関すること。 ○ いじめ防止対策委員会に関すること。
	小中一貫教育推進係	○ 小中一貫教育の計画に関すること。 ○ 教育課程及び学習指導に関すること。 ○ その他小中一貫教育に関すること。

②生涯学習部

区分		事務の概目
生涯学習課	企画調整係	○ 部の企画調整に関すること。 ○ 生涯学習及び社会教育に関する調査及び諸統計、資料の刊行に関すること。 ○ 生涯学習審議会に関すること。 ○ 社会教育事業の計画・実施に関すること。 ○ 視聴覚教材・機材の貸出し及び管理に関すること。 ○ 社会人権教育に関すること。 ○ 成人式に関すること。 ○ 青少年関係団体に関すること。 ○ 子ども部の青少年健全育成事業との連携に関すること。 ○ 生涯学習出前講座に関すること。 ○ 地域交流教室の開放に関すること。 ○ 生涯学習推進計画の策定及び進行管理に関すること。 ○ 生涯学習関係機関（小学校・中学校・高等学校・大学、民間教育機関、企業等）との連絡調整に関すること。 ○ 文化施設整備基金に関すること。 ○ その他生涯学習の推進に関すること。
文化・スポーツ課	文化振興係	○ 文化事業の計画及び実施に関すること。 ○ 芸術文化の振興に関すること。 ○ 芸術文化団体の指導育成に関すること。 ○ 伝統芸能継承活動の推進に関すること。
	歴史文化財係	○ 文化財の保護・活用に関すること。 ○ 文化財審議会に関すること。 ○ 歴史に関すること。 ○ 文化財保存基金に関すること。
	スポーツ振興係	○ 社会体育施設建設計画に関すること。 ○ 社会体育施設の管理及び運営に関すること。 ○ 学校運動施設開放事業に関すること。 ○ スポーツ推進委員に関すること。 ○ スポーツ・レクリエーション団体の指導、育成に関すること。 ○ スポーツ・レクリエーションの振興に関すること。 ○ スポーツ・レクリエーション指導者の育成に関すること。 ○ ふれあいキャンプ場に関すること。 ○ スポーツ振興基金に関すること。

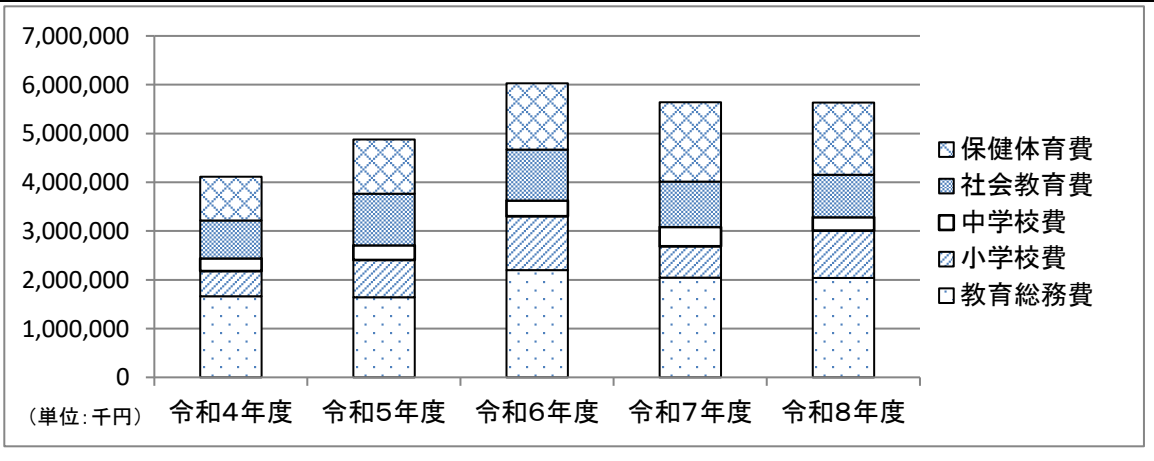
③教育機関

所属課	教育機関名	係名	事務の概目
教育相談センター		特別支援・長期欠席支援係	○ 教材及び教具の活用に関すること。 ○ 教科用図書及び教材の給付に関すること。 ○ 教育情報の収集、整理及び活用に関すること。 ○ 不登校の児童又は生徒その他相当の期間学校を欠席している児童又は生徒に対する相談及び支援に関すること。 ○ 教育支援センター（適応指導教室）の管理及び運営に関すること。 ○ 特別支援教育に関すること。 ○ 児童又は生徒の教育支援に関すること。
		相談係	○ 教育相談、心理相談及び発達相談に関すること。 ○ こども発達センターとの連絡調整に関すること。
指導課	少年センター		○ 少年の指導に関すること。 ○ 少年センターの管理運営に関すること。
生涯学習課	我孫子地区公民館 湖北地区公民館	公民館係	○ 学級、講座、講演会及び展示会等の実施に関すること。 ○ ボランティア、リーダー及び講師の養成に関すること。 ○ 公民館事業のカリキュラム等の調整及び調査研究に関すること。 ○ 公民館の管理運営に関すること。 ○ 公民館事業の資料作成、刊行及び配布に関すること。 ○ 生涯学習センターの管理運営に関すること。 ○ 生涯学習情報の収集、提供及び学習活動の奨励及び援助に関すること。 ○ 生涯学習相談に関すること。
図書館	我孫子市民図書館	総務係	○ 図書館計画に関すること。 ○ 文書の受発、保管及び公印の管理に関すること。 ○ 施設管理に関すること。 ○ 図書館の情報管理及び統計に関すること。 ○ めるへん文庫基金に関すること。
		利用サービス係	○ 図書館の利用サービス計画に関すること。 ○ 図書館の利用サービスに関すること。 ○ 関連団体の育成に関すること。 ○ 関係機関との相互協力に関すること。 ○ 図書館資料の収集、保存、管理及び提供に関すること。 ○ 移動図書館に関すること。
		分館	○ 分館の利用サービスに関すること。 ○ 図書館資料の収集、保存、管理及び提供に関すること。
鳥の博物館		博物館係	○ 博物館施設の管理に関すること。 ○ 博物館運営計画作成に関すること。 ○ 博物館資料等の収集、保管及び展示に関すること。 ○ 博物館資料の調査研究及び普及活動に関すること。 ○ 他の博物館、関係機関との交流及び資料の交換に関すること。
文化・スポーツ課	白樺文学館	歴史文化財係	○ 白樺文学館資料の収集及び保存に関すること。 ○ 白樺文学館資料の展示及び閲覧に関すること。 ○ 白樺文学館資料についての調査及び研究に関すること。 ○ 白樺文学館の管理及び運営に関すること。 ○ 白樺文学館の入館受付に関すること。 ○ 白樺文学館の休館日、開館時間等に関すること。 ○ 白樺文学館の入館の減免に関すること。

(5)教育費当初予算年次別推移

（単位：千円）

年度／予算区分	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
教育総務費	1,662,799	1,642,894	2,200,191	2,045,600	2,036,931
教育委員会費	3,000	3,033	3,042	2,975	2,998
事務局費	330,104	342,179	321,921	320,931	353,441
教育研究指導費	472,066	506,622	1,093,812	941,209	898,411
学校教育費	857,629	791,060	781,416	780,485	782,081
小学校費	518,812	763,027	1,104,185	642,722	972,236
学校管理費	273,377	387,474	369,511	353,099	350,785
教育振興費	11,205	12,292	14,625	18,614	19,071
学校施設管理費	234,230	363,261	720,049	271,009	602,380
中学校費	259,107	298,389	318,823	391,598	274,807
学校管理費	154,198	220,201	197,212	197,717	190,660
教育振興費	11,999	12,105	16,263	19,507	20,739
学校施設管理費	92,910	66,083	105,348	174,374	63,408
社会教育費	776,088	1,060,290	1,043,746	935,972	868,105
社会教育総務費	105,452	114,630	110,952	128,364	139,355
公民館費	122,521	201,142	150,765	189,111	116,053
市史編さん費	7,603	6,113	6,314	4,963	5,511
文化費	82,886	93,554	153,889	94,118	95,324
少年センター運営費	4,796	4,918	5,422	5,269	5,307
図書館費	272,378	356,818	303,114	298,527	295,502
青少年教育費	1,376	1,373	1,316	1,108	922
博物館費	83,302	169,137	211,804	110,577	106,248
生涯学習センター費	95,774	112,605	100,170	103,935	103,883
保健体育費	897,092	1,110,081	1,361,594	1,623,825	1,481,084
保健体育総務費	77,407	77,066	102,518	135,932	132,598
保健給食費	607,005	821,872	878,415	819,654	1,144,649
体育施設費	212,680	211,143	380,661	668,239	203,837
教育費予算額	4,113,898	4,874,681	6,028,539	5,639,717	5,633,163
一般会計予算額	47,650,000	43,300,000	46,760,000	49,390,000	51,230,000
一般会計に占める割合	8.6%	11.3%	12.9%	11.4%	11.0%



4　教育施策と今年度の主な事業

Ⅰ　確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、子ども一人ひとりがいきいきと輝く魅力ある学校づくりの推進

重点施策1　学校教育環境の充実

(1)安心して快適に学べる教育・学習環境の充実

〇児童生徒の安全確保と防災体制・安全教育・防災教育の充実

〇小中学校における学習環境の整備と充実

〇我孫子市公共施設等総合管理計画に基づく学校施設の個別施設計画の推進

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
小中学校施設の維持管理	学校施設の改修工事、樹木剪定等の委託業務を通して、維持管理を行っていきます。 〇白山中学校 ・巨木伐採業務委託	総務課
学校施設個別施設計画の推進	我孫子市学校施設個別施設計画に基づき、老朽化が進む施設の長寿命化改修等を計画的に進めます。 〇湖北台中学校 ・屋上防水、外壁等改修工事 〇白山中学校 ・屋内運動場バスケットゴール修繕 〇湖北小学校 ・屋内運動場建設工事 〇我孫子第四小学校 ・給排水、電灯設備等更新工事 〇布佐南小学校 ・屋内運動場屋根、外壁、電灯設備等改修工事	総務課
学校教育環境の充実	子どもたちが安全に安心して登下校できるよう、警察や道路管理者などと連携を図りながら、通学路の安全確保に関する点検や対策に取り組みます。	学校教育課

（2）信頼される学校づくりの推進、教職員の意識高揚を図る職場環境づくり

〇学校評価・学校運営協議会制度を活用した学校経営の改善

〇「我孫子市学校職員の働き方改革推進プラン」における、学校を支える人員体制の整備の推進

〇業務の適正化や校務ＤＸによる業務の効率化、学校行事の内容の検討など、教職員の負担軽減に向けた取組の推進

〇教職員全員で取り組む不祥事根絶対策及び不祥事が起きない職場風土の醸成

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
スクールサポート教員配置事業	ティームティーチングによる指導や少人数指導のため、児童生徒のより多様な学習活動を支援し、学習効果を高めるため、小学校６校に６人、中学校５校に６人を配置します。	学校教育課

重点施策２　子どもがいきいきと輝く学校づくり

（1）確かな学力の育成

〇生きて働く「知識及び技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力等」、学びを人生や社会にいかそうとする「学びに向かう力、人間性等」の育成

〇「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

〇指導方法や指導体制の工夫改善による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現

〇学習の基盤となる情報活用能力（情報モラルを含む）の育成と適切に ICT を活用した学習活動の充実

〇ユニバーサルデザインの視点による全員が分かる授業づくり

〇学級経営の支援（Ｑ－Ｕ検査（ＷＥＢＱＵ）の活用）と指導力の向上

〇児童生徒及び教職員の学校図書館活用の推進

〇外国語・外国語活動における指導力の向上及びＡＬＴの活用

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
学力向上推進事業	市内小中学校で我孫子市標準学力調査を実施します。その結果分析の研修会を各学校で実施し、児童生徒の学力向上を図るべく授業改善にいかします。	指導課
教職員資質向上推進事業	教職員の資質向上を図るため要請に応えながら、各学校が抱える授業づくりの悩みに寄り添った指導・助言を行い、国や県、市の教育施策が反映されるよう伝達していきます。また、研究指定校への積極的な支援を行い、教職員のニーズに応じた希望研修を企画運営していきます。	指導課
学級経営の支援	教職員が、児童生徒の不登校・いじめ及び学級集団が良好でない状態を早期発見・予防し、児童生徒間のより良い人間関係を築き、児童生徒各々に応じた学力の向上を図るため、年２回の Q-U 検査（WEBQU）を活用して、学級経営支援を行います。	指導課
ＩＣＴを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	AIドリル等を活用した個別最適な学びや、協働学習ソフトを活用した「多様な他者と共に問題発見や解決に挑む資質・能力の育成」を図る協働的な学びを促進します。情報活用能力（情報モラル教育を含む）の育成を図るとともに、教育情報セキュリティの維持・強化を図ります。生成 AI のガイドラインの策定と活用事例の創出を行い、市内外へ発信します。	指導課
学校図書館活用の推進	学校図書館が、「学習センター」として児童生徒の主体的で探究的な学習を支えるため、学校司書が授業を支援します。 学校図書館の蔵書管理システムにより、児童生徒が学習したい内容や興味に合う本を検索し活用しています。また、１人１台端末で見られる電子百科事典を活用し、情報活用能力の向上を図ります。	指導課

国際理解教育の推進	英語や外国の文化に興味関心を持ち、積極的に英語を活用しようとする児童生徒を育成しています。ALT（外国語指導助手）を市内全小中学校に派遣し、学級担任、英語専科教員、英語科教員と協力して外国語及び外国語活動の授業を展開します。 また、個別最適な学習に対応した英語学習アプリを活用し、英語力向上を図ります。	指導課
子ども議会	次代を担う小中学校の児童生徒に、議会制民主主義の理解やまちづくりに関心を深めてもらうとともに、小中学生の市に対する要望や意見などを聴取し、今後のまちづくりの参考にすることを目的に開催します。	指導課

（2）心身ともに健康な児童生徒の育成

〇思いやりのある豊かな心、社会性を育む規範意識を醸成する人権教育、体験活動及び道徳教育の充実

〇望ましい生活習慣につながる健康教育・食育の推進

〇心身の健全な発達を支える学校体育の充実

〇情操豊かな心を育てる文化的行事や学習活動の支援

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
学校給食管理運営事業	子どもたちの健やかな成長のために給食が生きた教材となるよう、食育に取り組むとともに、地元の農産物を使った給食を提供し、生産者への感謝の気持ちと郷土愛を育みます。	学校教育課
児童・生徒の保健衛生事業	児童生徒の健康保持増進の実践力を育成するために、小中学校における食育・歯科保健活動の充実を図ります。	学校教育課
小中学校体育文化活動事業	市内陸上競技大会で、体力の増強と挑戦する気持ちを育成します。市内音楽発表会で、発表を鑑賞し合い、互いに学び合う場とします。	指導課

（3）幼児教育と小学校教育との連携・小中一貫教育の推進

○幼児教育・保育から小学校教育への円滑な接続や、いわゆる「小1プロブレム」の解消などに向けた幼保小連携の推進

○郷土愛を育み、未来を拓く力と輝く心の育成を目指す、義務教育9年間を見通した小中一貫教育の推進

○中学校区ごとに目指す15歳の生徒像を基にして作成したグランドデザインを掲げ、地域の特色と人材を最大限にいかした小中一貫教育の推進

○学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる資質・能力を育成するキャリア教育の充実

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
幼保小連携	幼稚園・保育園・認定こども園と小学校との交流活動と、幼保小連携接続カリキュラムの活用を通して、子どもたちの育ちと学びをなめらかにつなぎます。	指導課
小中一貫教育の推進	郷土愛を育み、未来を拓く力と輝く心の育成を目指し、9年間の義務教育を通して学習指導や小中・小小の豊かな連携活動を行います。 各中学校区において、目指す15歳の姿を共有し、小中一貫教育グランドデザインを基にした教育課程と、「Abi☆小中一貫カリキュラム」の実施で、教育活動をつなぎます。 コミュニティ・スクールとの一体的推進により、体験活動の充実を図ります。	指導課
ふるさとカリキュラムの実施	ふるさと学習を通じて地域への関心が深まり、地域を愛する心情が育まれるよう、補助教材「ふるさと我孫子の先人たち」及び「Abi －ふるさと」の授業に役立つ「指導資料集」を配付し、それらを活用した各学校での授業を推進します。	指導課

キャリア教育の推進	市内全小中学校で「我孫子市キャリア・パスポート」に取り組み、心身の健康や社会的な充足感が満たされることを目指して、学ぶことと自己を振り返る時間を充実させます。また、「夢の教室」を実施し、アスリートから夢に向かって努力することの大切さを学びます。	指導課

（4）地域に密着した学習の場の提供

〇地域性をいかした学びの資源の活用

〇ふるさと学習の推進

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
社会科副読本「わたしたちの我孫子」を活用した学習の推進	郷土愛を深め、「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子どもを育めるよう、社会科副読本「わたしたちの我孫子」を活用した学習の充実を図ります。 また、一般の方々も閲覧できるよう、我孫子市民図書館のホームページに「あびこデジタル郷土資料」として掲載します。	教育相談センター

（5）地域とともにある学校づくり

〇コミュニティ・スクール（学校運営協議会の設置）による学校と地域との連携・協働の推進

〇地域学校協働活動推進事業の充実

〇地域の大学・高等学校との連携強化による児童生徒への学習支援の推進

〇中学校部活動における地域展開の推進

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
コミュニティ・スクールの推進	各学校に設置した学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的推進を図り、学校と地域が連携・協働して子どもたちを育むとともに、学校を核とした地域づくりを進めます。また、小中一貫教育で目指す子ども像を地域と共有し、小中一貫カリキュラムの推進を図ります。	指導課
学校運営協議会	学校運営協議会での熟議を通し、学校教育目標の達成や学校課題の解決、子どもたちの豊かな学びや体験活動を推進し、「地域とともにある学校」づくりを目指します。	指導課
地域との連携・協働による教育活動の充実	地域学校協働活動の充実に向け、地域学校協働活動推進員と学校担当者に向けた研修会等を実施するとともに、地域の関係団体や教育資源・施設と緩やかなネットワークを構築していきます。 学習活動を中心に子どもたちの見守りや学校環境整備、学校行事などの教育活動支援に地域や学生ボランティアの力を活用するとともに、地域と連携・協働した授業創りを進めることで、子どもたちの豊かな学びや体験活動をさらに充実させていきます。	指導課
部活動指導員	休日の中学校部活動の地域展開を円滑に進めるため、地域の人材を活用し、部活動指導員として各中学校に配置します。 9月以降、休日は地域クラブ指導者として、平日は顧問に代わって部活動指導を担うことで、教職員の部活動に係る時間削減を図ります。	指導課

（6）長期欠席児童生徒対策事業の強化

〇不登校予防や解消に向けた支援体制の充実と関係機関との連携強化

〇我孫子市教育支援センター（かけはし・ひだまり）の機能強化

〇校内教育支援センターの充実

〇自立と社会参加を目指した支援体制の整備

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
長欠対策事業	市内全小中学校に「心の教室相談員」を配置し、児童生徒・保護者や教職員の教育相談を受けます。また、市内全小中学校で「校内教育支援センター」を運営し、教室に入ることに不安がある児童生徒を支援します。心の教室相談員、校内教育支援センター指導員及びコーディネーター、長欠支援主任教師等に研修を実施しています。	教育相談センター
教育支援センター「かけはし」・「ひだまり」の運営	「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」(平成28年12月14日公布)を受け、不登校児童生徒の学びの場のひとつとして教育支援センター「かけはし」・「ひだまり」を設置しています。児童生徒が落ち着いた空間の中で、自分に合ったペースで学習・生活し、社会的自立につながる資質・能力を身に付けられるよう、指導・支援をしています。必要に応じて「かけはしひだまり教育支援シート」を作成することや、心理相談員(公認心理師)の配置により、きめ細かいサポートを行います。	教育相談センター
校内教育支援センターの運営	市内全小中学校で「校内教育支援センター」を運営し、教室に入ることに不安がある児童生徒を支援します。	教育相談センター

(7)いじめ・非行防止対策

○我孫子市いじめ防止対策推進条例に沿ったいじめの予防、早期発見と対処及び解消

○学校・市ほか関係機関との連携強化と相談窓口の充実

○街頭パトロールの実施、青少年育成団体との連携強化による少年の非行防止活動の推進

○警察・生活安全関係機関との連携強化

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
いじめ防止対策事業	いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けて、市のいじめ防止対策推進条例に基づき、組織的・継続的ないじめ防止に努めます。また、教育委員会いじめ防止対策担当が学校を訪問し、個々の子どもたちへのきめ細やかな対応を実現するため、指導・助言に当たります。	指導課
少年センター業務	少年指導員理事会を開催し、我孫子市を含め、東葛飾地区における、犯罪・防犯に関する現状報告を通して、少年の健全育成及び非行化防止に向けての資質向上に努めます。 少年指導員92名が、6中学校区に分かれて、商店街やゲームセンター、公園などのパトロールを行い、少年の健全育成や非行化防止、犯罪被害の防止に努めます。 市内、近隣市における不審者情報について、注意喚起を促すことで、犯罪被害の防止に努めます。 県下一斉列車パトロールを実施し、マナーの向上・非行防止・健全育成に努めます。	少年センター
	広報紙「きずな」を発行することにより、社会の中で規範意識を醸成するような支援及び情報提供に努めます。 市、自治会、教育関係機関、我孫子警察署など、関係機関の連携・協力により、犯罪のない明るい社会の実現に努めます。 市民全体で子どもを見守ろうという意識の高揚を図ることを目的として、学校を通じて「こども１１０番の家」の登録を行い、看板又はステッカーを配付します。 	

重点施策3　子どもの成長に応じた発達への支援

（1）一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援体制の構築

○就学支援の充実

○個々に応じた教育体制の整備

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
教育扶助事業	就学費用の負担が困難な児童生徒の保護者及び特別支援学級に就学する児童生徒の保護者に対して、必要な援助を行います。	学校教育課

（2）教育相談・支援体制の充実

○教育相談を充実させるシステムの構築

○帰国・外国人児童生徒への支援体制の整備

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
教育相談センターアドバイザー事業	学校生活において何らかの困難を抱える児童生徒について、学校の要請に基づき、アドバイザーが授業観察や心理検査等を通じ、アセスメント（見立て）を行います。それらを関係職員と共有し、校内で対象児童生徒に必要な対応が行われるよう支援します。また、必要に応じて支援会議等への出席、保護者面接、他の専門機関の情報提供等の連携も行います。	教育相談センター
児童生徒からの悩み相談ホットライン	教育相談センターに児童生徒専用電話とメールによる相談窓口を設置し、相談に当たります。また、必要に応じて指導課・学校と連携します。	教育相談センター

教育相談・発達相談事業	市内小中学生に関する、登校できない・学習が難しい・コミュニケーションが苦手・落ち着きがない等の本人や保護者の悩みについて、電話や来所での相談・支援を行います。必要に応じて学校をはじめ、他機関とも連携します。	教育相談センター

（3）特別支援教育の推進

〇一人ひとりの教育的ニーズに対応した特別支援教育の推進

〇特別に支援を要する児童生徒への支援体制の充実

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
就学相談事業	こども発達センターや小中学校、関係機関と連携を図りながら、学校体験・説明会・心理検査等を通して、一人ひとりの児童生徒に適した就学先を保護者が選択できるよう相談・支援していきます。	教育相談センター
学級支援員派遣事業	特別な教育的ニーズのある児童生徒が安全、安心な学校生活を送ることができるよう、学級支援員や通訳を配置します。	教育相談センター
教育相談センター巡回事業	年２回、市内全１９校を巡回します。新１年生と特別支援学級を中心に、所長や指導主事、心理相談員（公認心理師）、言語聴覚士等による授業観察を行います。各校の管理職や特別支援教育コーディネーターからの説明等を通して、各学校の特別支援教育体制を確認します。個別の支援計画・個別の指導計画の進捗状況やＭＩＭ活用状況、長欠児童生徒の現状について確認します。	教育相談センター

特別支援教育推進事業	特別支援教育コーディネーター研修会、学級支援員研修会及び特別支援学級担任の研修会を開催するとともに、各小中学校での校内研修会の開催をサポートして、特別な教育的支援を要する児童生徒の指導、支援の在り方について、教職員の理解の向上を目指します。 また、日本語を理解することが困難な児童生徒に対し、日本の生活に慣れ、有意義に学校生活が送れるようにするために、通訳や日本語指導者を派遣します。	教育相談センター
教育支援委員会の運営	特別な教育的支援が必要と思われる児童生徒の就学先について審議します。審議結果は就学相談事業で活用し、保護者の相談に応じ、助言します。	教育相談センター

（4）子ども部及び健康福祉部との連携強化

〇療育・教育システムの充実と切れ目のない支援

〇児童虐待の早期発見や児童生徒の自殺防止対策等についての連携強化

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
療育・教育システム連絡会	子ども相談課、こども発達センターとともに乳幼児期から就学、卒業後の就労までを総合的に支援していけるネットワークづくりに取り組みます。	教育相談センター
教育相談・発達相談事業	（再掲）25 ページ参照	教育相談センター
就学相談事業	（再掲）25 ページ参照	教育相談センター

Ⅱ 市民が地域の自然や文化に愛着を持ち、豊かな人生を送ることができる環境づくりの推進

重点施策1 生涯学習環境の充実

(1)学びたいときに学べる学習機会の充実

〇公民館の学級・講座や生涯学習出前講座の充実

〇鳥の博物館の教育普及活動の拡充

〇図書館サービスの充実、市民の読書活動の推進

〇移動図書館車と電子図書館サービスの積極的な活用

今年度の主な事業

事業名	内 容	担 当
のびのび親子学級	2、3歳児コースを開設します。 人間形成に重要な幼児期の子育てについて、参加者同士の交流を深めながら学びます。 のびのび親子学級：5月～12月（10回） プチのびのび親子学級：9月～11月（3回） 	生涯学習課
Baby のびのび親子学級	生後1か月から5か月までの赤ちゃんの保護者を対象に開設します。子育てで抱える不安を解消し、子育ての仲間づくりや、赤ちゃんとの絆を深める場を提供します。 1期：5月～7月 2期：9月～11月 3期：1月～3月 （各5回） 	生涯学習課

親力 UP 講座	小学生の子どもを持つ保護者を対象に開設します。子育てについての学習や参加者同士の情報交換を通じて、家庭・親子の在り方を考える機会を提供します。 5月～1月 	生涯学習課
アビコでなんでも学び隊	小中学生を対象に、地元の学校・企業・専門家の協力を得て、科学実験・工作・料理・スポーツ等の学び体験を通じて、子どもの夢や希望を広げる場として実施します。 7月～1月 	生涯学習課
生涯学習出前講座	市民が主催する学習の場へ講師が出向いて講座を実施します。 講座は、文化・芸術等の分野において、専門的な知識、技能等を持った市民の方がボランティアで講師を務める「市民講師メニュー」や、中央学院大学、川村学園女子大学の教員が講師を務める「キャンパスメニュー」、市政に関し職員が講師を務める「市役所メニュー」があります。	生涯学習課
視聴覚教材・機材の貸出	視聴覚教材・機材の維持管理に努めながら、広く市民に貸し出します。	生涯学習課

てがたん （手賀沼周辺の自然観察会）の開催	博物館周辺の水田・畑地・斜面林、手賀沼と周辺のヨシ原を対象に鳥や植物、昆虫など季節に合ったテーマで我孫子の自然を楽しみます。主に市民スタッフと協働で引率、説明を行います。 毎月第２土曜日、午前１０時から正午まで(雨天中止) 第１回(4/11)　「春の竹を観察しよう」 第２回(5/9)　「野草でお花見」 第３回(6/13)　「生き物の生存戦略」 第４回(7/11)　「葉っぱのハ・テ・ナ」 第５回(8/8)　「土の中の古代アート」 第６回(9/12)　「てがたんオノマトペ」 第７回(10/10)　「『毒』と『薬』は使いよう」 第８回(11/7・8)　「てがたん in JBF」 第９回(11/14)　「くらべてみよう鳥の体・翼編」 第１０回(12/12)　「もっと知りたいエナガ」 第１１回(1/9)　「冬を生きぬく」 第１２回(2/13)　「楚人冠が書いた鳥たち」 第１３回(3/13)　「行く鳥来る鳥」	鳥の博物館
あびこ自然観察隊	我孫子周辺の自然を特徴づける環境を選び、自然観察会を実施します。２月は、県立手賀の丘青少年自然の家との共催で行います。 第１回（6/6）　「田んぼの生き物観察」 第２回（7/25）　「セミの羽化をみよう」 第３回（8/15）　「ツバメのねぐら観察会」 第４回（2/21）　「観察しよう！手賀沼の冬鳥」 第５回（3/7）　「春の谷津田観察会」	鳥の博物館

ジャパンバードフェスティバル（JBF）	財団法人、企業、行政等で構成する実行委員会が、自然環境の大切さを提唱するため、鳥と環境をテーマにしたイベントを開催します。手賀沼課及び商業観光課と共同事務局を立ち上げて行います。 令和８年度は11月７日、８日開催予定。 11月７日　鳥学講座 11月７日、８日 ハシビロコウの帽子づくり 鳥博クイズ てがたん in JBF	鳥の博物館
体験学習	博物館学芸員、市民スタッフの指導で鳥だけではなく自然に興味を持つことができる簡単な工作や実験を行い、子どもの創造性を啓発します。また、鳥類の研究者と一般市民が出会う機会を設け、自然を科学的な目で観察することへの関心を高めます。 5/10　「鳥の工作をしよう」 「バードウィーク手賀沼探鳥会 in　Enjoy 手賀沼」 5/24　「飛べ！鳥の紙ひこうき」 6/28　「竹ざるを作ろう」 7/5　「手賀沼の魚をみよう」 7/19　「電子顕微鏡でミクロな世界を体験しよう」 8/11　「メダカでアクアリウム」 8/22　「絵合わせクイズ！身近な鳥の巣と卵」 8/27　「DNA 分析入門－DNA から鳥の性別を調べてみよう－」 9/20　「DNA 分析入門－DNA から鳥の性別を調べてみよう－」 9/27　「竹かごを作ろう」 10/10　「どんぐりインクでお絵描きをしよう」 10/12　「鳥の巣箱を組み立てよう」 10/18　「絵合わせクイズ！身近な鳥の巣と卵」 11/29　「はじめてのバードウォッチング」 12/13　「竹の鍋しきを作ろう」 12/20　「松ぼっくりでツリー作り」 1/31　「はじめてのバードウォッチング」 3/22　「竹筒でお米を炊こう」	鳥の博物館

講演会	・鳥のサイエンストーク(年１０回) ・鳥博セミナー（年１回） ９月 26 日「繁殖をめぐる鳥たちの攻防」 ・鳥学講座(年 １ 回) １１ 月 ７ 日 JBF 事業の一環として実施	鳥の博物館
あびっ子クラブ・学童保育室における出前講座	あびっ子クラブや学童保育室で出前講座を行います。 鳥だけではなく自然に興味を持つことができる簡単な工作や実験を行い、子どもの創造性を啓発します。	鳥の博物館
夏の遊びと研究大集合	夏休み期間中の日曜日に、自由研究のヒントになるような工作イベントを開催します。 第 1 回（7/19）「鳥のスカイスクリュー」 第 2 回（7/26）「ゴーストミミズク」 第 3 回（8/2）「ブーブーカモ笛」 第 4 回（8/9）「ふわふわ鳥グライダー」 第 5 回（8/16）「ブーブーカモ笛」 第 6 回（8/23）「ゴーストミミズク」 第 7 回（8/30）「バシャバシャペンギン」	鳥の博物館
鳥類生息状況調査	我孫子市周辺地域の自然環境の特性や変化を鳥類の生息状況から把握するため、定期的にセンサス調査を実施し、結果を公表するとともに、それらの成果を企画展にも反映させます。さらに、結果をまとめた『調査研究報告書』をホームページに掲載します。	鳥の博物館
常設展の充実	「世界の鳥」コーナーの展示標本及び体験学習や解説等に活用する標本の充実を図ります。タッチ式デジタルサイネージを活用した画像による展示・案内を行うとともに、パンフレットを設置し最新の情報を提供できるよう努めていきます。	鳥の博物館
近隣センターでの図書館サービス	市民協働推進課と連携して、新木近隣センターと天王台北近隣センターで図書館資料の貸出・返却受付を行います。	図書館

図書資料収集・提供	図書館では幅広い分野にわたる資料（図書等）を収集し市民に貸出を行っています。市の図書館として重点的に取り組む郷土行政資料、生活課題解決につながる資料、仕事に役立つ資料、子どもたちの生きる力を育む資料、青少年世代に親しみやすい資料などを充実させます。	図書館
図書館の情報化推進	外部有料データベース（新聞）及び国会デジタル化資料送信サービスを活用し、より高度な情報の提供を行います。	図書館
図書館ホームページ運営・活用	図書館ホームページを積極的に活用して、図書館の魅力発信を行います。普段図書館利用から遠ざかっている青少年へのアプローチを積極的に行います。	図書館

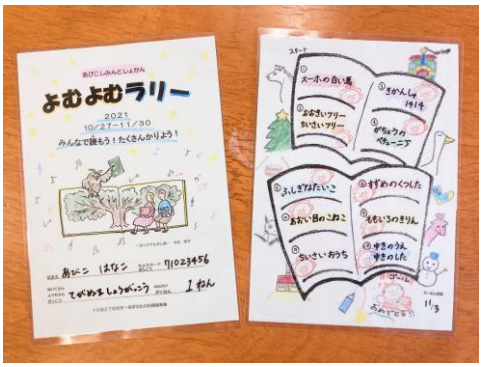


図書館主催講演会・講座・その他のイベント	・「大野隆司　版画講座」 版画家の大野隆司氏が版画づくりの実演をし、参加者は版画摺りを体験します。 8月18日、19日 ① 10時～11時30分 ② 13時30分～15時　計4回 （会場：アビスタ　工芸工作室） ・あびこ電子図書館体験会 電子機器を持参してもらい、あびこ電子図書館の使い方を詳しく説明します。 5月22日 （会場：湖北地区公民館　第1学習室） 12月11日 （会場：布佐分館　第1会議室） ・あびこデジタル郷土資料を用いた市民向け「我孫子を知ろう!」講座 2月27日 （会場：アビスタ　ホール） ・読書普及イベント 電算システムの機能を利用して、ホームページ上で「読書マラソン大会」を開催します。 ①春：「読書スタート大会」 4月16日～5月31日 ②夏：「なつやすみ大会」 7月22日～8月30日 ③冬：「新春大会」 1月13日～2月28日 	図書館

電子図書館サービス	令和６年１０月から電子図書館サービスを導入し、市内の小中学生には学校の授業で積極的に活用してもらうため、全校全学年にＩＤを発行しています。また、依頼に応じて使い方の説明やＰＲを図書館職員が学校に出向いて実施しています。 電子図書館内の「あびこデジタル郷土資料」では、郷土我孫子の学習に役立つ資料をデジタル化しており、我孫子の歴史や手賀沼について知識を深めることができます。令和８年度には図書館振興財団の助成金を取得し、「われ・まご・こ！未来につながる“ふるさと我孫子”デジタルデータ活用推進事業」として、副読本『わたしたちの我孫子』を９月から公開するほか、市内文化施設のパノラマコンテンツや地図資料等を追加搭載します。	図書館
郷土行政資料サービス	我孫子市・千葉県の郷土行政資料を収集、保存し、市民に提供します。白樺文学館や杉村楚人冠記念館、また、その他の文化施設と連携を密にし、企画展示や講座等を実施します。 ・楚人冠講座（会場：アビスタ） ①５月２３日　②１１月１４日 電子図書館内「あびこデジタル郷土資料」のページでも電子化した郷土資料が閲覧可能です。	図書館



市外図書館・大学・関係機関との連携協力	市内２大学との連携協力により、市民の大学図書館利用や資料の閲覧を可能にし、大学への団体貸出も行います。また、国立国会図書館、千葉県立図書館、県内市町村立図書館と連携し、図書館資料の相互利用を図り、多様かつ高度な資料提供を可能にします（一部の送料は受益者負担）。	図書館
文字・活字文化の日（１０月２７日）関連事業	読書の楽しみを広め、図書館利用の促進を図るため、講座の開催及びPR誌の発行をします。 ・「秋のたより」発行	図書館
児童サービス	①おはなし会の開催 ・親子で楽しむおはなし会（３歳以下の乳幼児と保護者対象） ・おはなし会（４歳～９歳対象） ・出張おはなし会 ・そよかぜおはなしタイム（移動図書館川村保育園ステーションでのおはなし会）	図書館
	②調べ学習用図書の貸出 ・移動図書館学校巡回の際、配本します。	
	③小学生向け図書館情報紙「たんた新新聞」の発行 ・年４回（４月、７月、１０月、１月）発行し、おすすめの本を紹介します。楽しみながら本に親しむ環境づくりに努めます。４月号は、子ども読書の日にちなんで２３日に発行します。 １０月には、「秋のたより」の紙面に同じテーマで児童書の紹介を掲載します。	
	④子ども読書の日（４月２３日）関連事業 「みんなで育てよう！“図書館の木”」の実施 （４月２３日から５月２４日まで） ・小学生以下の子どもに、図書館の本の中から「おすすめの本」「好きな本」を選んで用紙に書いてもらい、館内の「図書館の木」に貼ってもらいます。 	

（児童サービス）	⑤子どものための科学実験講座 ・身近な題材で科学実験講座を実施することにより、子どもたちの科学への関心を高め、読書へとつなげます。 ８月６日午後（会場：あびこ市民プラザ） ※あびこショッピングプラザ運営会社との共催で実施	（図書館）
	⑥離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ ・健康づくり支援課と連携して、離乳食教室の場に出向き、市民スタッフとの協働のもと、乳児と保護者を対象に、絵本にふれる大切さや楽しさを伝えるため、図書館の利用案内及び絵本の読み聞かせを実施します。	
	⑦文字活字文化の日（１０月２７日）関連事業「よむよむラリー」の実施 （１０月２７日から１１月２９日まで） ・幼児・小学生を対象に市内小学校と連携して読書スタンプラリーを実施し、ゴールした用紙をパウチして記念品としてプレゼントします。 	
市内小中学校の図書館との連携・協力	総務課、学校教育課及び指導課と連携し、学校図書館支援センター機能の充実を図り、学校図書館整備の支援、調べ学習のための資料、情報提供を行います。年２回学校図書館市民図書館連絡会議を開催し、子どもたちの読書環境向上に向けて方策を検討します。 学校司書会議において、児童生徒及び教職員の学校図書館活用を推進していきます。	図書館

図書館利用に障害のある人へのサービス	文字を読むことが困難な方への対面朗読、来館困難な方への資料の宅配サービス、耳や言葉の不自由な方へのファックスでのリクエストの受付を行います。また、視覚障害等が原因で読みたい資料をそのままでは利用できない方に、資料の内容を音声化したデイジー録音図書を市内音訳ボランティアと協働で作成し、提供します。	図書館
図書館市民スタッフ事業	館内研修を受けた市民スタッフが、視覚障害者等への対面朗読サービス、移動図書館川村保育園ステーションでのおはなし会、布佐分館おはなし会、保健センターでの乳児と保護者対象の絵本の読み聞かせ等を行います。	図書館
移動図書館巡回事業	図書館に来館しにくい地域の住民のために、移動図書館を巡回し本の貸出を行っています。市内20か所のステーションを巡るとともに、小中学校への巡回も行い、児童・教職員へ本の貸出をします。 また、高齢者施設への団体貸出等を実施します。 湖北台分館が老朽化により長期休館となったことから、湖北・湖北台地域へのサービスを提供するため、4月から湖北台近隣センターへの巡回を開始しました。湖北台西小学校、湖北台東小学校、新木小学校の巡回時には一般市民も利用できます。11月からは新設される湖北消防署にも巡回する予定です。  移動図書館　そよかぜ号	図書館

ミニ移動図書館めるへん号導入・活用事業	現在の移動図書館よりも小さい軽自動車タイプのミニ移動図書館めるへん号を導入し、道幅が狭く巡回できなかった高野山小学校をはじめ、保育園・幼稚園、こども発達センター等に出向き、機動力をいかして読書活動を推進していきます。	図書館
めるへん文庫事業	子どもたちが創作活動に親しみ、豊かな感性を育むことを目的とし、めるへん文庫基金を活用して「めるへん文庫」事業を実施します。 ・受賞作品集を刊行し、受賞作品展を2月17日から2月28日まで実施します。 ・ワークショップとして「めるへん学校」を6月7日に実施します。	図書館

（2）人づくり・まちづくりにつながる学習活動の支援

〇時代の変化や地域の課題に対応した学習機会の提供

〇学んだ成果を社会や地域でいかせる人材の育成・活用

〇歴史・文化資料のデジタルアーカイブ化による郷土学習の推進

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
二十歳成人式の開催	成人（二十歳）代表と連携し、式典の企画と運営を行います。式典は、令和9年1月10日（日）けやきプラザで開催します。 対象者：平成18年（2006年）4月2日から平成19年（2007年）4月1日までに生まれた方	生涯学習課
長寿大学	65歳以上の市民を対象に、4年制の高齢者学級を実施します。高齢期の課題とともに地域の活動やまちづくり等に参画できるよう学習課程を学びます。 4月～2月	生涯学習課

いきいきシニア	シニア世代が地域とのつながりを深め、仲間との交流や学びを通じて、健康づくりや生きがいを育み、地域で活躍できる充実したシニアライフを支援します。 5月～1月	生涯学習課

（3）学習施設の整備・充実

〇公民館、図書館、鳥の博物館などの施設・機能の充実

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
地域交流教室の管理運営	小学校5校の余裕教室5教室を、大人と子どもの交流や学習等の様々な活動の場として提供します。	生涯学習課
生涯学習センター施設の維持管理	誰でも、いつでも、どこでも学べる生涯学習の場として、快適で利用しやすい施設の管理運営に努めます。 ・南側石垣欠損部等修繕 ・消防設備（放送設備、信号装置）修繕	生涯学習課
湖北地区公民館の運営	施設の設置目的をより効果的・効率的に達成するため、指定管理者制度を活用し、生涯学習の場の整備・充実を進めます。 ・駐車場照明器具修繕 ・外壁診断調査業務委託	生涯学習課
鳥類標本・資料の収集	博物館事業の基盤となる鳥類標本資料の収集と永続的な保管管理を行います。 鳥の博物館の所蔵する標本は山階鳥類研究所管理の標本データベースで検索、閲覧することができます。 今後さらに、鳥の博物館の収蔵庫内に、どのような標本を収集しているのかをオンラインで見ることができるよう、公開する標本の範囲を広げてアップデートを行っていきます。	鳥の博物館
図書・映像資料の整理とデータ作成	鳥類に関する図書を収集し、保存管理するとともに、より利用しやすくするため、データベース化を進めます。本棚の設置等により資料コーナーを充実します。	鳥の博物館

常設展示リニューアルに向けた検討	我孫子市鳥の博物館リニューアル基本計画に基づき、優先度の高い項目から段階的に進めていきます。 ・鳥の博物館常設展示パネル更新業務委託　令和9年2月末まで	鳥の博物館
鳥の博物館ミュージアムショップの充実	入館者の要望や意見を積極的に取り入れ、安全で楽しく遊べるグッズや来館記念となるオリジナルグッズを用意し、来館者が楽しめるようなミュージアムショップとして充実を図ります。 	鳥の博物館
鳥の博物館施設設備の維持管理	劣化した施設や設備の修繕または更新を行います。 ・鳥の博物館展示用ケース電灯設備等更新工事設計業務委託　10月末まで ・3階テラス散水栓修繕　下半期	鳥の博物館
図書館施設設備の維持管理	安全で快適な読書環境を提供するために施設や設備の維持管理に努めます。 ・布佐分館雨漏り修繕	図書館

（4）市民の学習活動を支える体制の整備

〇生涯学習推進計画に基づく施策の推進

〇生涯学習に関する情報の収集・提供・発信と相談体制の整備・充実

〇市民活動団体・NPO 法人・学校・企業等との連携強化

〇生涯学習ボランティアの育成・活用

〇子ども部等と連携した、子どもの読書活動推進計画の推進

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
生涯学習審議会	生涯学習推進の施策や事業などについて検討・審議を年２回行います。 第１回令和８年８月７日 第２回令和９年２月５日（予定）	生涯学習課
生涯学習推進委員会の開催	生涯学習推進計画に関する課題の調整や進行管理を行います。	生涯学習課
生涯学習推進事業	大学や生涯学習団体、他課等と連携し、市民の学習ニーズにあった単発講座を開催します。 「運動会で速く走れる！未来のオリンピアン走り方教室」５月９日 「正しい動きで無理なく続ける！NHK テレビ・ラジオ体操指導者岡本美佳さんから学ぶラジオ体操！」１０月２４日	生涯学習課
保育スタッフ事業	公民館や図書館利用者のための一時保育を保育ボランティアの協力を得て実施します。4月～3月	生涯学習課
鳥の博物館市民スタッフへの支援	環境学習・体験学習のリーダーとして、また、来館者へのガイドとして必要な知識や技能を習得するための支援を行います。	鳥の博物館
鳥の博物館友の会への支援	友の会会員自らの生涯学習（各同好会の活動）を行うための支援を行います。	鳥の博物館
子どもの読書活動推進計画の進行管理	子どもの読書活動の推進に関する各課事業の調査を実施し、進行管理を行います。	図書館

重点施策2　歴史文化財の保存・継承と文化の振興

（1）文化芸術活動への支援と環境整備

〇後援等の事業による文化芸術活動の充実

〇既存施設の効率的利用の促進

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
文化祭及び文化芸術団体の育成・支援	市民の文化芸術活動普及のため、9月15日から11月29日まで市民文化祭を開催し、多くの市民参加を促します。また、文化芸術活動団体の充実と資質の向上及び文化芸術の普及を図るため、事業の後援等を実施し、団体の活動を支援します。 また、文化祭のプレイベントとして、気軽に文化体験できる「みんなの文化体験会」を6月27日と6月28日に実施します。	文化・スポーツ課

（2）新たな文化芸術活動の創出

〇文化芸術活動や団体に関する情報の発信

〇文化芸術活動に触れる機会や参加する機会の充実

〇文化芸術活動団体との協働の仕組みを見直し、新たな魅力の創出

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
文化芸術自主事業	日本舞踊や郷土芸能を体験してもらい、伝統古典芸能に興味を持つ入口となるような体験教室（3回）をそれぞれ実施します。	文化・スポーツ課
子どものための舞台鑑賞事業	子どもたちに良質な舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、心豊かな成長を促すとともに、舞台鑑賞のマナーなどを養うことを目的とした子どものための舞台鑑賞事業を12月12日に実施します。	文化・スポーツ課

（3）地域文化・郷土芸能の保存と継承

〇生活文化や郷土芸能の聞き取りや現地踏査などの調査・研究

〇生活文化や郷土芸能の継承

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
市史調査研究	市内に残された古文書や民俗などの聞き取り調査や現地踏査を通じ、我孫子市に伝えられてきた生活文化を大切にし、次の世代につなげていきます。	文化・スポーツ課
郷土芸能祭	市内に伝承されている里神楽やお囃子などの郷土芸能を市民に普及するとともに後継者の育成を図るため郷土芸能祭を12月6日に実施します。	文化・スポーツ課
郷土芸能体験教室	郷土芸能に触れる機会が少ない子どもたちに、日本古来の伝統的な和太鼓、踊りを体験してもらい、民俗芸能に興味を持つ入口となるような体験教室（3回）を実施します。成果を発表することで楽しさを体験し、次世代へ郷土芸能を継承する機会とします。	文化・スポーツ課

（4）歴史的・文化的遺産の整備・活用

〇指定文化財制度や文化財登録制度による文化財の保存・活用

〇文化財保存活用地域計画に基づく整備・活用の推進

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
旧井上家住宅の保存と活用	市指定文化財である旧井上家住宅の母屋保存整備を行います。 引き続き邸内の部分公開を行い、文化財的価値の認知向上を図ります。 市民ボランティアガイドの設置を行い、母屋の見学頻度を増やします。 庁内で旧井上家住宅保存活用計画作成に向けての検討会を行います。	文化・スポーツ課

白樺文学館・杉村楚人冠記念館・旧村川別荘の活用	白樺文学館・杉村楚人冠記念館で企画展・講演会を開催し、我孫子の歴史と文化について認知向上に努めるとともに、旧村川別荘と連携し、大正から昭和初期にかけて花開いた創造的文化の歴史を体感できる空間づくりを進めます。 また、学芸員の不在時も来館者に展示の解説ができるよう、市民ボランティアガイドを配置し、施設の魅力を高めます。	文化・スポーツ課
文化財保存活用地域計画の推進	我孫子市文化財保存活用地域計画に基づき、市内に所在する史跡と文化財の保存と活用を通じ、「我孫子遺産」を次世代に継承させる取組を進めます。 本計画が令和10年3月で終了するため、令和9年12月の認定に向けて第二期計画策定を進めます。	文化・スポーツ課

（5）埋蔵文化財や歴史資料の調査・研究

〇埋蔵文化財や歴史資料に関する調査・研究の推進

〇埋蔵文化財や歴史資料に関する報告書・資料集等の刊行

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
埋蔵文化財発掘調査	市内の埋蔵文化財が開発等で損壊される場合、事前に発掘調査を実施して記録保存を実施します。 埋蔵文化財を適切に保存するための収蔵庫の移転作業を進めます。	文化・スポーツ課
発掘調査報告書の刊行	市内における埋蔵文化財発掘調査に伴う発掘調査報告書を刊行するとともに、補助金を活用し、重要遺跡である新木南部遺跡群の発掘調査報告書を刊行します。	文化・スポーツ課
文化財報告書の刊行	市内における文化財施設に所蔵されている資料の調査を文化財報告書として刊行します。	文化・スポーツ課

（6）歴史的・文化的遺産に関する情報発信の拡充

〇歴史的・文化的遺産を公開する場や機会の確保

〇地域の歴史や文化に親しめる環境づくりの推進

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
文化財の公開	発掘調査で出土した埋蔵文化財及び市指定文化財を宣伝するために市内の施設に展示ケースを設置し、定期的に展示替えを行います。	文化・スポーツ課
文化財施設を活用した市内小中高や市民団体との連携	白樺文学館、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘及び旧井上家住宅を活用し、市内小中高や市民団体と連携することにより、文化財の周知に努めます。	文化・スポーツ課

重点施策3　スポーツの振興

（1）スポーツ施設の管理・整備と民間施設等の活用

〇スポーツ施設の適正な維持管理

〇民間スポーツ施設の活用や近隣市施設の相互利用の推進

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
取手市とのスポーツ施設相互利用	市民カードの提示で取手市のスポーツ施設を市民料金で利用できます。市民カードは、教育委員会、市民体育館、市民課窓口又は各行政サービスセンターで作ることができます。	文化・スポーツ課
五本松運動広場整備事業	五本松運動広場におけるサッカー場兼ラグビー場整備を行っています。全ての工事完了は令和9年5月下旬を予定しています。	文化・スポーツ課

（2）生涯スポーツの推進

〇スポーツ推進委員と連携した総合型地域スポーツクラブの育成・支援

〇生涯スポーツを支えるスポーツ指導者の養成

〇スポーツ推進計画の推進

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
総合型地域スポーツクラブの展開	市内に7つある総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っていきます。	文化・スポーツ課
スポーツ指導者養成講座開催	日本スポーツ協会の公認資格の取得とともに我孫子市独自の講義を交えて指導者養成講座を開催します。	文化・スポーツ課
スポーツ推進計画の推進	スポーツ基本法に基づき、令和4年度に策定した我孫子市スポーツ推進計画を推進します。	文化・スポーツ課
部活動地域展開の推進	令和7年度までの実証事業の実績を踏まえ、9月から市内全中学校の全ての部活動を対象とした、休日の地域クラブ活動を開始します。	文化・スポーツ課

（3）スポーツを楽しむ機会の充実

〇市民が気軽に参加できるスポーツイベント等の開催

今年度の主な事業

事業名	内　容	担　当
市民スポーツ大会	我孫子市スポーツ協会加盟の各競技団体が市民スポーツ大会を開催します。	文化・スポーツ課
千葉県民体育大会	千葉県スポーツ協会加盟の各競技団体が参加します。	文化・スポーツ課
ファミリースポーツテスト	大人も子どもも参加可能な文部科学省作成の体力テストを6月13日に開催します。	文化・スポーツ課

チャレンジスポーツフェスタ	様々なスポーツの体験を通して市民のスポーツ活動の振興につなげるため、我孫子市民体育館を中心に10月3日に開催予定です。	文化・スポーツ課
手賀沼チームラン・キッズラン「うなきちカップ」	手賀沼親水広場特設コースで11月28日に4時間リレーマラソンイベントを開催します。また、子どもたちが参加できる「親子ラン」「キッズラン」、中学生以上の「マイルラン」を行います。	文化・スポーツ課
新春マラソン大会	湖北台中学校周辺で1月24日に新春マラソン大会を開催します。親子ペアの部もあり、子どもから大人まで参加できる大会です。	文化・スポーツ課
ボールゲームフェスタ	日本トップリーグ連携機構との共催で3月14日に年中から小学生を対象に開催します。年中から3年生は親子でボールを使って遊ぶことの楽しさを体験、4年生から6年生は4種目の球技を体験します（予定種目：ラグビー、ハンドボール、バレーボール、サッカー）。	文化・スポーツ課

5　資料　(1)我孫子市学校教育の重点

令和８年度　我孫子市学校教育の重点



「生きる力」の育成

我孫子市教育委員会

基本方針

豊かな心の育成　　確かな学力の育成　　健やかな体の育成

目　標

豊かな心の育成	確かな学力の育成	健やかな体の育成
① 道徳教育、人権教育の充実 ② 人間関係づくりを基盤にしたグループ学習、体験的学習、学習集団づくり ③ 主体的な学びを支える学級経営 ④ いじめ防止対策の充実 ⑤ 校内教育相談体制の確立 ⑥ 長期欠席・不登校支援の強化 ⑦ 特別支援教育の充実	① 生きて働く知識及び技能の習得 ② 未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力等の育成 ③ 学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性等の涵養 ④ 外国語・外国語活動の推進によるコミュニケーション能力の育成 ⑤ ＩＣＴ教育の推進 ⑥ 学校図書館活用の推進	① 学校体育の充実 ② 「いのち・こころ・からだの学習」の充実 ③ 食育・健康教育の推進 ④ 学校安全のための指導体制づくり ⑤ 防災教育の充実 ⑥ 子どもたちの安全のための組織の充実

具　体　的　な　取　組

豊かな心の育成	確かな学力の育成	健やかな体の育成
① □「特別の教科 道徳」の授業の充実		
② □学び合う授業研究の推進 □いじめアンケート、hyper-QUの活用によるいじめの予防、早期発見・解消および不適応等への迅速な対応	① □実践モデルプログラムを軸とした主体的・対話的で深い学びの実現 □全国学力・学習状況調査等の結果・分析を踏まえた授業改善	① □体力・運動能力調査結果及び運動特性を踏まえた系統的な指導の工夫
③ □豊かな人間関係づくり実践プログラムの推進	② □研修体系に基づく研修の充実	② □指導計画に基づく「いのち・こころ・からだの学習」の実施
④ □チームによる生徒指導の充実 □いじめ防止対策推進条例に基づく体制整備 □「児童生徒からの悩み相談ホットライン」の周知	③ □ユニバーサルデザインの視点によるわかりやすい授業づくり □指導方法や指導体制の工夫改善による「個に応じた指導」の充実 □「指導と評価の一体化」の推進 □ＷＥＢＱＵの活用による指導過程・学習形態の工夫	③ □学校給食を活用した食育の推進 □給食食材・メニュー等の工夫（地元農産物の学校給食への積極的活用） □口腔衛生指導の推進
⑤ □教育相談センターアドバイザー事業の推進 □心の教室相談員との連携 □関係機関との連携による教育相談	④ □ＡＬＴの活用による外国語・外国語活動の学習支援 □AIを用いた英語４技能育成ソフトウェアの活用による学習支援	④ □交通安全教室の実施 □生活安全、交通安全、災害安全のｶﾘｷｭﾗﾑに基づいた安全教育の実施
⑥ □長期欠席・不登校支援校内組織の運営 □教育支援センター、校内教育支援センターとの連携	⑤ □学習の基盤となる情報活用能力の育成 □情報モラル教育・生成AI教育の実施 □ICT教育支援員による学習支援・生成AI教育の実施	⑤ □危機管理マニュアルの改善と活用
⑦ □個々の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進と学級支援員の活用 □連続性のある「多様な学びの場」と支援の充実 □教育相談センターの巡回事業の充実	⑥ □学校図書館の充実と効果的な活用 □市民図書館との連携 □読書習慣の確立	⑥ □少年指導員によるパトロールの実施やこども110番の家の周知 □安全管理員の活用（全小学校） □見守り隊等、地域との連携

教職員の資質向上

○キャリアステージに応じた教職員の資質向上研修の充実（成長期・発展期・充実期）
○各学校での校内研究会・若年層授業研修会の充実（指導主事の要請）

基盤となる「我孫子市教育施策」

【目標】　確かな学力と豊かな心、健やかな体を育み、子ども一人ひとりがいきいきと輝く魅力ある学校づくりの推進

学校教育環境の充実	子どもがいきいきと輝く学校づくり	子どもの成長に応じた発達への支援
① 安心して快適に学べる教育・学習環境の充実 ○ 児童生徒の安全確保と防災体制・安全教育・防災教育の充実 ○ 小中学校における学習環境の整備と充実 ② 信頼される学校づくりの推進、教職員の意識高揚を図る職場環境づくり	① 確かな学力の育成 ② 心身ともに健康な児童生徒の育成 ③ 幼児教育と小学校教育との連携 小中一貫教育の推進 ④ 地域に密着した学習の場の提供 ⑤ 地域とともにある学校づくり ⑥ 長期欠席児童生徒支援事業の強化 ⑦ いじめ・非行防止対策	① 一人ひとりの状況に応じたきめ細かな支援体制の構築 ② 教育相談・支援体制の充実 ③ 特別支援教育の推進 ④ 子ども部及び健康福祉部との連携強化 ・ 児童虐待の早期発見や児童生徒の自殺防止対策等についての連携強化

（2）我孫子市が目指す小中一貫教育



49

(3)市立小中学校一覧

小学校(13校)

学　校　名	所　在　地	電　　話	開 校 年
我孫子第一小学校	寿1丁目22番10号	04－7184－0415	明 治 6 年
我孫子第二小学校	下ケ戸610番地	04－7184－1722	明 治 2 2 年
我孫子第三小学校	柴崎台3丁目3番1号	04－7184－1171	昭 和 2 4 年
我孫子第四小学校	白山3丁目2番1号	04－7182－6151	昭 和 2 5 年
湖　北　小　学　校	中里95番地	04－7188－1002	明 治 7 年
布　佐　小　学　校	布佐1217番地	04－7189－2545	明 治 6 年
湖北台西小学校	湖北台8丁目17番1号	04－7188－1123	昭 和 4 4 年
高 野 山 小 学 校	高野山198番地	04－7183－3238	昭 和 5 0 年
根　戸　小　学　校	つくし野4丁目17番1号	04－7184－3988	昭 和 5 1 年
湖北台東小学校	湖北台4丁目3番1号	04－7187－2951	昭 和 5 2 年
新　木　小　学　校	新木1460番地	04－7187－1051	昭 和 5 5 年
並　木　小　学　校	つくし野7丁目30番1号	04－7184－3151	昭 和 5 6 年
布佐南小学校	布佐平和台5丁目1番1号	04－7189－2132	昭 和 5 8 年

中学校(6校)

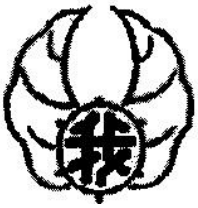
学　　校　　名	所　　在　　地	電　　話	開　校　年
我孫子中学校	高野山537番地	04－7182－5191	昭 和 2 2 年
湖　北　中　学　校	古戸300番地	04－7188－2042	昭 和 2 2 年
布　佐　中　学　校	布佐1301番地	04－7189－2426	昭 和 2 2 年
湖北台中学校	湖北台6丁目9番1号	04－7188－2120	昭 和 4 4 年
久寺家中学校	つくし野171番地	04－7184－3987	昭 和 5 1 年
白　山　中　学　校	白山3丁目7番3号	04－7184－1893	昭 和 5 4 年

(4)学校紹介

児童数、学級数、教職員数、校地面積は令和8年5月1日現在

我孫子第一小学校

＝校章の由来＝



松と亀を形どり永久の発展を象徴している。

◇児童数　465人
◇学級数　22学級
◇教職員数　52人
◇校地面積　20,097㎡

住所　寿1－22－10
電話　04-7184-0415
開校　明治６年
校長　中野　直美

【教育目標】
「豊かな心で、たくましく生きる一小っ子」の育成
「仲間の　思いを　認め合う」

校門を入ると、玄関まで長い坂道（フラワーロード）が続いています。そのかたわらには、いつもきれいな花が､いっぱい咲き誇っています。美しい環境は「心豊かな子どもたち」を育てます。

今年は一小１５４年目となります。学校を居心地の良い場所にすることを大切にし、子どもたちの郷土を愛する心を育むとともに、グローバル社会において必要となる資質・能力を備えた「自分大好き学校大好き　我孫子大好き　一小っ子」を育てていきます。

重点目標

1　学校を心地よい居場所にする
2　いじめ・不登校問題に速やかに対応する
3　個別最適・協働的な学び＋持続可能の視点でカリキュラム（一小スタイル）の創造
4　あいさつ､靴箱・傘立ての整理整頓清掃活動を
5　特別支援教育の視点を全ての教育活動に
6　開かれた学校・地域と共にある学校を推進する
7　心身共に健康でゆとりをもち、子どもと向き合える職場環境づくりをする
8　信頼される学校（教職員）を目指す

我孫子第二小学校

＝校章の由来＝



我孫子市の我の１字を三角形でデザインし、下の２本線は、第二小学校の二の文字を表している。三角形は筑波山を、２本線の上は手賀沼を下は利根川を表し、何れも校歌に歌われている。

◇児童数　436人
◇学級数　20学級
◇教職員数　47人
◇校地面積　22,322㎡

住所　下ヶ戸610
電話　04-7184-1722
開校　明治２２年
校長　森谷　朋子

【教育目標】
「気力たくましく、
思いやりと自省心のある
人間性豊かな子どもの育成」

二小合い言葉「笑顔で　なかよく　最後まで」
～　一 生 懸 命　～

＝地域に根ざして＝

校門の階段を登ると、大きな楠が２本大空にそびえ立ち、子どもたちを見守っています。

二小のアイドル羊の「スペード」がいて、子どもたちは、毎日の餌やりや清掃など、飼育活動に取り組んでいます。また、水田での米作りや谷津田での自然観察など、地域の先生の指導・助言を受けながら二小ならではの体験活動を行っています。

創立１３８年目の今年も、地域に根ざした教育活動を通して、地域・保護者と共に歩む学校づくりを進めていきます。そして、人との関わり合いを大切に「子どもも大人も行きたくなる学校」を目指します。

地域に支えられている我二小を誇りに思うと共に、夢を持ち、実現に向かって努力する子どもたちの育成に励んでいます。

我孫子第三小学校

＝校章の由来＝



校歌にも歌われ本校の象徴ともいえるこぶしの葉３枚を三方に配し、知徳体バランスのとれた児童の姿を表す

◇児童数　642人
◇学級数　28学級
◇教職員数　61人
◇校地面積　16,463㎡

住所　柴崎台3－3－1
電話　04-7184-1171
開校　昭和２４年
校長　齊藤　優

【学校教育目標】
『自ら学び　支え合い　たくましく生きる子の育成』
学校は子どものためにある　～希望の登校　満足の下校～

【めざす学校の姿】
・全ての児童に確かな学力を身に付け、生きる力を育成していく学校
・教職員相互の信頼と敬愛に基づく協働体制のもと、自ら学び、考え、創意工夫をしながらつくりあげていく学校
・保護者や地域とともに教育の責任を分かち合い、保護者や地域と連携していく学校

【めざす児童の姿】
・学ぶ楽しさを知り、自ら考え、表現し、粘り強く問題を解決したり、行動したりする子
・友人と互いに支え合いながら、問題解決に向けて力を発揮できる子
・体力の向上や心身の健康保持増進を目指すとともに困難なことがあっても一生懸命に取り組んでたくましく生きる子

多くの卒業生が巣立ち、地域の方々に支えられながら、本校は今年で創立７８年目を迎えます。この地に栄える伝統校としての誇りを持ち、これからの未来に向けて、「社会の変化に対応できる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かでたくましい児童」の育成に努めて参ります。

我孫子第四小学校

＝校章の由来＝



我孫子第四小学校の「四」の文字を中心に据え、まわりにデザイン化した我孫子の「我」を配している。

◇児童数　799人
◇学級数　31学級
◇教職員数　67人
◇校地面積　14,536㎡

住所　白山3－2－1
電話　04-7182-6151
開校　昭和２５年
校長　佐々木　祐子

【教育目標　基本目標】
『意欲を持ち　自分を磨く　たくましい子』
≪合い言葉≫（重点目標）
よく遊び　よく学び　みんななかよく
（目指す児童像）
・みんなでなかよく遊ぶ子
・よく考え自ら学ぶ子
・明るく思いやりのある子

○ 四小では、健やかな体と豊かな心を持った児童を育成するために、感性・知性・理性の教育に力を入れています。「月例リレー」や持久走練習を始めとする体力づくりや命を考える月間などを設定して、たくましい体力と豊かな心を育むことを大切にしています。

○ 四小児童の基礎・基本を「ハイという返事」・「あいさつ」・「ありがとう、ごめんなさい」・「かさ・くつをそろえる」として、思いやりの心を大切に、なかよく過ごしています。

○ 校内研究では「気付きと探求を楽しんで　意欲的に学ぶよつばっ子の育成　～協働的な学習を活かした単元づくり～」を主題とし、生活科と総合的な学習の時間を中心に研修に励みます。

湖北小学校

＝校章の由来＝



湖北小学校の学区は開校当時、純農村地域であり、校章はその特徴をとって、豊かな実りを象徴する金色の稲穂になっている。

◇児童数　345人
◇学級数　18学級
◇教職員数　46人
◇校地面積　23,977㎡

住所　中里95
電話　04-7188-1002
開校　明治７年
校長　加藤　理巳

【教育目標】
「やさしく、かしこく、たくましい子どもの育成」

≪めざす子ども像≫
「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」

≪合言葉≫
やさしく　　かしこく　　たくましく

≪2026合言葉≫
「優しさ」の優先　　「習う」から「学び」へ

利根川と手賀沼に挟まれた大地に立つ湖北小学校は、明治7年に創立しました。今年度は創立１５３周年目となります。

今年度は、文部科学省指定「教育課程柔軟化サキドリ研究校」として、教育課程を工夫したり、生み出した時数を活用したりしながら、子どもたちの主体性を重視した教育活動や教職員の研修を行っています。

湖北中学校区でのコミュニティスクールの充実や小中一貫教育の推進を念頭に、中学校区合同の避難訓練や中学校区での教育ミニ集会を行っています。また、地域学校協働活動による支援を受けながら、放課後学習室を開室しています。

布佐小学校

＝校章の由来＝



豊かな水を湛える利根川や手賀沼と、はるかなる筑波の雄姿の中で学べる布佐小健児の勉学の精神を三つのペン先に表す。

◇児童数　167人
◇学級数　10学級
◇教職員数　34人
◇校地面積　18,454㎡

住所　布佐1217
電話　04-7189-2545
開校　明治６年
校長　太田　貴之

【教育目標】
「心豊かに　たくましく生きる　児童の育成」

≪めざす児童像≫
・笑顔で明るく　思いやりのある子
・よく考え全力で　自ら学ぶかっこいい子
・元気でたくましく　最後まであきらめない子

≪合い言葉≫
布佐っ子笑顔　いつも全力　元気なあいさつ

明治６年創立、今年度１５４年目を迎えます。宮作台の豊かな自然あふれる環境の中で、児童が夢を育みながら充実した学校生活を送れるよう創意工夫し、活力あふれる学校を目指しています。

コミュニティースクールの充実と小中一貫教育の推進を図り、学校と地域とが一体となって教育を推進しています。

布佐地区の伝統文化を大切にし、郷土への誇りを持てるよう、総合的な時間を中心に、地域の学習「布佐学習」や布佐中学校区３校で開発した、郷土の歴史・文化・人物等について学ぶ『ふさカリキュラム』に取り組んでいます。

この成果を基盤として、他教科においても、小中一貫のカリキュラムの充実を図っています。

湖北台西小学校

＝校章の由来＝



中心にペンをかたどり、そのペン先が富士の峰を表し、大空にはばたく翼が西の字を表している。

◇児童数　225人
◇学級数　13学級
◇教職員数　43人
◇校地面積　23,319㎡

住所　湖北台8-17-1
電話　04-7188-1123
開校　昭和４４年
校長　石川　清隆

【教育目標】　素直に　一生懸命　取り組む子

【合言葉】　西っ子　素直に一生懸命

【研究主題】
「聴く・考える・話す」の循環を生み出す授業づくり
－思考の可視化を通した言語活動の充実－

【経営の重点】
１　一生懸命学習する力の育成
２　素直で優しい心の育成
３　健康でたくましい体の育成
４　特別支援教育の充実

昭和４４年１０月１日湖北台団地建設に伴い、湖北小学校の教室を借用して、開校しました。
本校は、「すべての西っ子に個別最適な支援を」を基盤として、「明るいあいさつができる子」「自分も友だちも大切にできる子」「楽しんで学べる子」を育てています。
また、学校運営協議会を中心に地域の協力を得て、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」「地域の担い手となる人材の育成」を目指しています。

高野山小学校

＝校章の由来＝



けやきの葉を図案化し、健康・英知・愛情・協力・根気・親和が六つの葉に込められている。

◇児童数　477人
◇学級数　25学級
◇教職員数　54人
◇校地面積　18,059㎡

住所　高野山198
電話　04-7183-3238
開校　昭和５０年
校長　加藤　昌子

【教育目標】
（基本目標）「自立」～主体的に生きる児童の育成～
（全校の合言葉）なかよく　進んで　元気よく
目指す学校像
○確かな学力を身に付け、主体的に生きる力を育成していく学校
○児童にとって喜びや楽しさがいっぱいある学校
○家庭や地域とともに教育の責任を分かち合い、互いを信頼しながら連携していく学校

○なかよく【一人一人を大切にする学校・学年・学級づくり】
・明るく元気なあいさつをする子「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子
・自分も相手も大切にできる思いやりのある子

○進んで【未来を創る確かな学力の育成のための学習指導の工夫】
・主体的に考え、意欲的に探究できる子　・自分に合った学び方を見つける子
・自分なりの考えをもち、学びあうことができる子

○元気よく【健康で元気に過ごせる心と体をつくる工夫】
・進んで運動する子　・進んで働く子
・健康と安全の大切さを理解し、正しい知識の下、正しい判断と行動ができる子

○地域とともにある学校づくり（家庭、地域、学校との連携）
・学校運営協議会委員や地域学校協働活動推進員と協働した学校づくりを推進
・ふるさとに対する誇りや地域への愛着を醸成する「ふるさとカリキュラム」の実践
・情報の発信と情報の吸い上げによる、家庭、地域、学校の連携
・発達段階に応じた就労観・職業観を育むキャリア教育の充実
・防犯、安全教育の充実…交通安全推進隊、子ども見守り隊等との連携

今年度は創立５２年目を迎えました。校庭にそびえる大きなけやきの木に見守られ、これまでと変わらず今日も子どもたちの元気なあいさつや笑い声が響いています。

根戸小学校

＝校章の由来＝



根戸城の高台を表す三角形に、すぎなとつくしが囲み、逞しくすくすく伸びる児童の姿を願っている。

◇児童数　626人
◇学級数　27学級
◇教職員数　57人
◇校地面積　21,473㎡

住所　つくし野4－17－1
電話　04-7184-3988
開校　昭和５１年
校長　蒲野　毅

【教育目標】

よく遊び　よく学び　思いやりのある子
～合言葉「笑顔でチャレンジ」～

本校では、隣接する幼稚園、保育園、中学校等との積極的な交流を通し、地域に開かれた特色ある学校づくりを推進してきました。また、令和４年度から推進している福祉教育について、令和８年度からは新たに研究主題として位置づけ、その実践を深めています。

さらに、学校支援地域本部事業を活用し、学校のニーズに応じて地域の人材から協力を得る体制を構築しました。こうした人的・物的な交流を通じて、地域とともに歩む学校づくりを一層推進しています。

伝統である「さわやか挨拶」「一生懸命清掃」「てきぱき行動」を教育活動の柱とし、元気で心優しい「ねどっ子」の育成に努めています。

湖北台東小学校

＝校章の由来＝



手賀沼の波の上に、東小の子どもの姿をペン（学問）と共に表し、小鳥で「小」を描き、成長と飛躍の東小が表現されている。

◇児童数　198人
◇学級数　11学級
◇教職員数　38人
◇校地面積　28,546㎡

住所　湖北台4－3－1
電話　04-7187-2951
開校　昭和５２年
校長　佐藤　知以子

【教育目標】
『活力のある学校』
～　精一杯遊び、学び、互いのことを考え
　　思いやることができる、子どもの育成　～

【合い言葉】
ひ　人を励まし応援
が　がんがん挨拶
し　静かに話を聴く

【めざす学校像】挨拶（返事）・清掃活動・くつの整頓
①子どもも教師も保護者も、一人一人が大切にされる学校
②主体的な児童活動のある学校
③教師と保護者の共働のある学校
④地域と共に歩む学校

昭和５２年、湖北台西小学校より分離して開校し、今年度、創立５０周年を迎えます。

「すべては子どもたちのために」を第一に、合い言葉「ひ・が・し」の実現に向け、子どもたちの育成に取り組んでいます。

また、令和７年度より、学校運営協議会や地域学校協働本部の協力を得て、「学校お助け隊」を発足し、より一層の「地域と共に歩む学校づくり」を目指しています。

新木小学校

＝校章の由来＝



市木、けやき三葉に、本校教育目標強い子、考える子、明るい子への願いを込め表した。

【教育目標】
いい声　いい顔　いい姿　～一生懸命がかっこいい～
（合い言葉）
いい声　いい顔　いい姿

（行動目標）
（体）心身共に健康で、たくましい子（強い子ども）
（知）よく学び、最後まで努力する子（考える子ども）
（心）よく働き、助け合う子（助け合う子ども）

◇児童数　347人
◇学級数　18学級
◇教職員数　43人
◇校地面積　27,496㎡

住所　新木1460
電話　04-7187-1051
開校　昭和５５年
校長　久本　英雄

本校は、北に利根川を臨む小高い丘の上に位置し、周囲には田や畑が残る自然豊かな環境の中にある。
学区にはＪＲ成田線の新木駅をかかえ、駅の南口には新しく開発された住宅地が広がっている。
本校では以前から、地域の特性をいかし、千葉県立我孫子特別支援学校やこども発達センター等、近隣福祉施設との交流を行ってきた。平成１８年度・平成２６年度に県の福祉教育推進校の指定を受けて以来、地域との交流活動を推進している。令和元年度には「国語科における主体的・対話的で深い学び」の研究指定を受け、「深い学びのカリキュラム・デザイン～自ら課題を見つけ、解決するための方法を考え、行動できる子の育成～」を研究テーマに取り組み、令和３年度に実践発表を行った。令和６年度からの３年間は、市の研究指定を受けて「学級経営（体育科）」の研究に取り組んでいる。

並木小学校

＝校章の由来＝



けやきの花を図案化、花びらで意志を表し、おしべ、めしべで成長の永遠性を、左右対称により博愛と和を象徴する。

【教育目標】
―未来を見つめ今を生き抜く並木っ子―
『心やさしく　かしこく　たくましい　子どもの育成』

【育てたい児童像】
な なかよし みんなが やさしいハートの 並木っ子
み 自ら進んで　学ぶパワーの　並木っ子
き 気持ちも　体も　ファイトいっぱい　並木っ子

【合い言葉】
なんでもチャレンジ みんなで進む きょうも元気 並木っ子

◇児童数　285人
◇学級数　17学級
◇教職員数　44人
◇校地面積　26,342㎡

住所　つくし野7－30－1
電話　04-7184-3151
開校　昭和５６年
校長　海野　義彦

本校は、北に利根川、東に電力中央研究所の小高い丘に囲まれた、自然豊かな環境にあります。
学区は、国道６号線をはさんで、大きく並木地区とつくし野地区に分けられます。
令和３年度より「国語科」を共同研究の教科とし、令和８年度は、研究主題を「生き生きと主体的に活動できる児童の育成～国語科を通して～」として校内研究を進めています。主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、児童の自己決定・教師の環境づくりを通して、生き生きと主体的に活動できる児童を育てるために工夫しています。また、児童が楽しみながら学習できるように職員一丸となり研究を推進しています。
さらに、小中一貫教育においては、コミュニティースクールとの一体的な推進を図り、令和６年度から福祉教育に重点を置いて実践に取り組んでいます。

布佐南小学校

＝校章の由来＝



けやきの葉を図案化したもので三枚の葉はそれぞれ、豊かな心･健やかな身体･知識を表し中心は人を表す。

◇児童数　137人
◇学級数　9学級
◇教職員数　32人
◇校地面積　25,572㎡

住所　布佐平和台5－1－1
電話　04-7189-2132
開校　昭和５８年
校長　桃井　淳子

【教育目標】
『心豊かで　実践力のある子』

合言葉　　『笑顔と活気でやってみよう』

＜経営の重点＞
(1) 豊かな信頼関係が形成され、学級の一員としての存在が実感できる
(2) 子どもに「できた・わかった」という喜びがある
(3) 子どもが目標をやり遂げたという満足感がある
(4) 支持的風土の学級で不安等が解消され安心感がある

学区は、豊かな自然環境に恵まれるとともに、伝統文化を継承してきた地域にあります。

児童は、学年に関係なく親密な交流があり、様々な場面で力を合わせて一つのことを成し遂げています。教職員は、一人一人の児童の理解に努めながら、日々の教育を実践しています。

地域とともにある学校づくりを進める中で、小中一貫教育を推進しています。郷土の歴史や文化、人物の業績などの学習を通して郷土愛を育んだり、９年間の連続した学びを行ったりすることなどを目指しています。

我孫子中学校



＝校章の由来＝

我孫子市の我と中学校の中を形どり、我孫子中学校を表している。

創立８０周年　スクールカラーは『緑』

◇生徒数　802人
◇学級数　30学級
◇教職員数　82人
◇校地面積　32,349㎡

住所　高野山537
電話　04-7182-5191
開校　昭和２２年
校長　鈴木 与志実

【伝統の継承と発展】
我孫子中を訪れると、その緑の豊かさに驚くでしょう。正門から玄関まできれいに掃かれたアプローチは、さながら都市公園の散歩道の趣があります。生徒たちの元気な挨拶、教室から流れる歌声も、緑の中の学び舎と一体化し、美しい一枚の絵を描き出します。「清掃」「挨拶」「歌声」は本校の伝統として生徒たちに受け継がれています。

【教育目標】
「より良い未来を創る人の育成」
◎重点目標
社会で生きる力の育成・・・「自律」「協働」「創造」
○「多様性を認める心」
考えや意見､立場の違いを認め､対話を通して理解することで､個を生かし､新たな創造につなげようとする。
○「主体的に取り組む姿勢」
当事者意識を持って学校生活を送り、積極的に課題発見・解決を図ることでよい良い状態を目指そうとする。
○「寛容な心で接する態度」
自他を大切にし、広い心で相手を受け入れたり、許したりすることで、良い関係を構築するようにする。

目指す学校像・生徒像
「安心・安全で、共に学び個性を伸ばす学校」
「互いを尊重し、主体的に自らを高めていく生徒」

湖北中学校



＝校章の由来＝

中央に湖北中と力強く書かれ、それを大地の恵みを象徴する稲穂がやさしくつつみこみ、限りない向上をめざす。

◇生徒数　333人
◇学級数　13学級
◇教職員数　43人
◇校地面積　36,907㎡

住所　古戸300
電話　04-7188-2042
開校　昭和２２年
校長　長田　さおり

【学校教育目標】
「主体性」と「共生」
主体的に判断・行動し、共によりよく生きる生徒の育成

【基本方針】
予測困難なこれからの時代を生きるために必要不可欠な力であり、「多くの人と積極的にかかわることで、生きる力を身につけ活力ある学校づくりを目指す。

【具体的目標】
１　よりよい生活･学習のあり方を求め、自ら考え、的確に判断し行動できる生徒を育てる。

２　互いの価値観を認め、仲間と学び合い支え合いなら、共に生活していこうとする意欲を持てる生徒を育てる。

３　家庭・地域と協働し、三者一体となって生徒を育てると共に､学区の小学校との小中一貫教育を推進していく。

布佐中学校

＝校章の由来＝



中央にカナ文字で「フサ中」を形どり、周囲に瑞穂をあしらい健やかな成長と実りを象徴したものである。

◇生徒数　169人
◇学級数　9学級
◇教職員数　36人
◇校地面積　20,588㎡

住所　布佐1301
電話　04-7189-2426
開校　昭和２２年
校長　山内　和利

【教育目標】

本校は、戦後の教育改革である六・三制の実施に伴い地域の熱い期待を担って昭和22年5月に創立されました。この間、布佐の教育に対する高い関心と温かい風土の中で生徒・職員・保護者が一体となり、この地域の教育の中心として大きな成果を上げてきました。卒業生も九千余名の多きにのぼり、現在さまざまな分野で活躍をしています。

また、地域の教育機関としては、歴史と文化のある布佐の地で、地域の新しい時代を切り拓く創造的な思考力と共生する態度を持つ人材を育てるため「自ら学び、共によりよく生きる生徒の育成」を目標に日々努力しているところです。

地域の方々の協力を得て進めている「布佐タイム」(総合的な学習の時間)は、毎年充実したものとなり、地域の方々を講師とし、1年生から3年生まで、10の講座に分かれて、地域と共にある学校づくりを推進しています。

「みんなで創る地域の小中一貫校」を合言葉に、学区小学校や近隣高校とも連携し、地域に根ざした学校づくりに邁進しております。平成26年度に我孫子市の小中一貫教育推進地区に指定され、平成28年度に研究発表会を開催。小中が連携し、保護者・地域とともに地域総ぐるみで子どもを育てる我孫子市のモデルとなる小中一貫教育の実践を推進しています。

また、平成30年度に学校図書館活用の推進に関する我孫子市の研究指定を受け、現在学校図書館を活用した学力の向上に向けて日々取り組みました。

湖北台中学校

＝校章の由来＝



中央に校名の湖北と台を配し、三枚の桜の葉は校訓である品位・学力・勤労を意味している。

◇生徒数　251人
◇学級数　13学級
◇教職員数　43人
◇校地面積　29,792㎡

住所　湖北台6－9－1
電話　04-7188-2120
開校　昭和４４年
校長　戸塚　美由紀

【教育目標】

『主体的に、よりよい生き方や望ましい学習のあり方を求め、実践する生徒を育てる。』

本校では、上記の学校目標のキーワードを大切にし、「地域からも認められる活力のある湖北台中学校」を今年度の目標として揚げ、全ての教育活動を通して取り組んでいます。

また、小中一貫教育の観点から「一生懸命な子」を湖北台中学校区のキーワードとし、学習指導・生徒指導・行事を通して交流を図り、湖北台中学校卒業時の子どもたちの姿を共有しています。保護者の方だけでなく、おやじ＆おふくろの会・地区社協の方を始めとする地域の方の協力を得て、社会・地域で活躍できる人材育成を目指しています。

湖北台中学校には大切にしている「合い言葉」があります。

1.「一生懸命がかっこいい」(生徒の理想の姿)

2.「夢は逃げない、自分が夢から逃げるだけ」
(職員も生徒も諦めない)

3.「一人の友(生徒)も置き去らじ」
(「誰一人見捨てない」という職員の姿勢・仲間を思う生徒の心)

生徒と共に、この3つの合い言葉を常に念頭に置いて教育実践を進めています。

久寺家中学校

＝校章の由来＝



戦国時代、我孫子左衛門但馬守の支城であった久寺家城にゆかりの兜を形どってデザインし、勇気を象徴している。

◇生徒数　470人
◇学級数　17学級
◇教職員数　51人
◇校地面積　26,175㎡

住所　つくし野171
電話　04-7184-3987
開校　昭和５１年
校長　鴨下　隆

【学校教育目標】
これからの社会を生き抜くたくましい力と豊かな心を持った生徒を育てる。

【校訓】
自学・礼節・鍛錬

〈目指す教育〉
自学：自ら学ぶ態度を育成し、自らの考えや調べたことを発信する力を伸ばす。

礼節：人と人との望ましい関係を身に着け、格調高い品格の形成を目指す。

鍛錬：汗水を流して体を動かし、苦難を克服できる強い意志力のある人づくりを目指す。

「地域に根ざした豊かな心をはぐくむ学校づくり」を目指して保護者・地域と共に、生きて働く力と体験に根ざした豊かな心を持ち、品格のある生き方のできる生徒を育てることを目標としています。
令和３年度より「久寺家ゼミ」を開講し、タブレットの導入に伴い、課題設定⇒情報収集⇒整理・分析⇒まとめ・表現の学習の流れの中で、主体性、協働性、発信力の育成を目指します。

白山中学校

＝校章の由来＝



人としての基盤を築き、若者らしく大きな夢、希望に向かって果敢に取り組む生徒の心意気を三角構図で示している。

◇生徒数　626人
◇学級数　24学級
◇教職員数　73人
◇校地面積　27,817㎡

住所　白山3－7－3
電話　04-7184-1893
開校　昭和５４年
校長　鈴木　伸樹

学校教育目標
「みがき合い 支え合う 心豊かでたくましく生きる生徒をめざす」

校歌は加瀬完先生の作詞です。この校歌の歌詩の中に白山中学校の求める姿が描かれています。
「励むやわれら師と友と」「一人の友も置き去らじ」
「そのたくましき忍と耐」「世界の空を天駆けん」

そして、目指す生徒像は、
・夢や理想の実現に向けて、自ら挑戦し、一生懸命に取り組む生徒（自律）
・自他の生命を尊重し、思いやりと感謝の心を大切にする生徒（共生）
・よりよい未来に向けて、学校や地域の中で進んで社会貢献する生徒（創造）

本年度の重点目標は次の7つです。
（１）授業改善による学ぶ楽しさを感じる授業づくりの推進
（２）よりよい生き方に結び付ける、心の教育
（３）安全安心な学校生活
（４）生徒主体の実現
（５）三つの伝統（挨拶・清掃・歌声）
（６）社会貢献
（７）信頼される学校

本年度の研修主題は、
自ら、共に学び、活用できる生徒の育成
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して～

（5）生涯学習関連施設一覧

施 設 名	所 在 地	連 絡 先 市外局番（04）
生涯学習センター「アビスタ」	若松26－4	7182－0515（受付）
公民館　我孫子地区公民館（アビスタ内）	若松26－4	7182－0622
湖北地区公民館「コホミン」	中里81－3	7188－4433
図書館　アビスタ本館	若松26－4	7184－1110
湖北地区公民館（コホミン）内窓口	中里81－3	7187－3055
布佐分館	新々田109－1	7189－1311
移動図書館	つくし野 4-17-1	7187－0909
鳥の博物館	高野山234－3	7185－2212
市民体育館	古戸696	7187－1155
五本松運動広場	岡発戸1433－2	7187－1155（市民体育館）
つくし野多目的運動広場	つくし野5－5－32	7181－7878
湖北台中央公園テニスコート	湖北台7－5	7187－1155（市民体育館）
湖北台中央公園野球場	湖北台7－5	7187－1155（市民体育館）
手賀沼公園テニスコート	若松1	7187－1155（市民体育館）
布佐下多目的広場	布佐2157	7185－1604（文化･ｽﾎﾟｰﾂ課）
浅間前多目的広場	浅間前136	7185－1604（文化･ｽﾎﾟｰﾂ課）
利根川ゆうゆう公園野球場	古戸地先	7187－1155（市民体育館）
利根川ゆうゆう公園サッカー場	古戸地先	7187－1155（市民体育館）
少年野球場	上沼田17－2	7185－1604（文化･ｽﾎﾟｰﾂ課）
ふれあいキャンプ場	岡発戸1395	7183－7003
地域交流教室　我孫子第一小学校	寿1－22－10	7182－0511（生涯学習課）
高野山小学校	高野山198	
湖北台西小学校	湖北台8－17－1	
布佐小学校	布佐1217	
湖北台東小学校	湖北台4－3－1	
旧村川別荘	寿2－27－9	7185－1583（文化･ｽﾎﾟｰﾂ課）
志賀直哉邸跡書斎（緑雁明緑地内）	緑2－7	7185－1583（文化･ｽﾎﾟｰﾂ課）
白樺文学館	緑2－11－8	7185－2192
杉村楚人冠記念館	緑2－5－5	7187－1131
旧井上家住宅	相島新田1	7185－1583（文化･ｽﾎﾟｰﾂ課）

(6)我孫子市内の指定・登録文化財一覧

県指定文化財

	名称	種別	所在地	指定年月日
1	金塚古墳出土遺物	有形文化財(考古資料)	我孫子 1684(市教委)	H24.3.16
2	正泉寺の血盆経信仰資料	有形民俗文化財	我孫子市湖北台 9-12-36(正泉寺)	H10.3.20
3	水神山古墳	記念物(史跡)	我孫子市高野山 439 他	H4.2.28
4	相馬郡衙正倉跡	記念物(史跡)	我孫子市日秀字西 60-6 の一部他	H7.3.14
5	東源寺の榧ノ木	記念物(天然記念物)	我孫子市柴崎 170	S10.8.23

市指定文化財

	名称	種別	所在地	指定年月日
1	二十一仏武蔵石板碑	有形文化財(歴史資料)	中峠 1148(天照神社)	H 7. 5.11
2	仁阿弥道八作「陶製仁王像」	有形文化財(彫刻)	根戸 1778(妙蓮寺)	H13.10.29
3	裁縫雛形	有形民俗文化財	我孫子 1684(市教委)	H14. 7.8
4	新木東台遺跡出土 地名・人名墨書土器	有形文化財(考古資料)	我孫子 1684(市教委)	H15. 6.25
5	西大作遺跡出土 地名・人名墨書土器	有形文化財(考古資料)	我孫子 1684(市教委)	H15. 6.25
6	羽黒前遺跡出土 人名墨書土器	有形文化財(考古資料)	我孫子 1684(市教委)	H15. 6.25
7	中里薬師堂薬師三尊像及び十二神将像	有形文化財(彫刻)	中里 238	H18. 3. 6
8	旧村川別荘	記念物(史跡)	寿 2-27-9	H19. 5.30
9	古戸里神楽	無形民俗文化財	古戸地区	H20. 7.31
10	旧杉村楚人冠邸	有形文化財(建造物)	緑 2-5-5	H22. 1.29
11	志賀直哉邸跡書斎	有形文化財(建造物)	緑 2-7(雁明公園内)	H23. 3.31
12	葺不合神社本殿・拝殿 附　二の鳥居	有形文化財(建造物)	新木 1812 番外	H24. 3.29
13	旧井上家住宅　母屋・二番土蔵・新土蔵・旧漉場、表門・裏門 附　庭門及び両脇屋根塀、裏門両脇屋根塀　土地	有形文化財(建造物)	相島新田1	H24.12.28

	名称	種別	所在地	指定年月日
14	日立精機2号墳	記念物(史跡)	我孫子 2-1-88 (我孫子古墳公園内)	H26.2.28
15	ヒカリモ発生地	記念物(天然記念物)	岡発戸807番の一部外 (谷津ミュージアム内)	H28.2.29
16	待道講版木 附　待道講資料	有形民俗文化財	岡発戸 541(白泉寺)	H31.2.28
17	竹内神社例大祭	無形民俗文化財	布佐 1220(竹内神社)	R2.2.28
18	井上家資料	有形文化財(歴史資料) 有形民俗文化財	我孫子 1684(市教委)	R3.2.26
19	子の神5号墳	記念物(史跡)	寿 2-23-1 (寿古墳公園内)	R4.2.28
20	杉村楚人冠陶板句碑	有形文化財 (工芸品及び歴史資料)	緑 2-4-24 (楚人冠公園内)	R4.7.28
21	下ヶ戸貝塚出土品一括	有形文化財(考古資料)	我孫子 1684(市教委)	R5.8.31
22	木造虚空蔵菩薩坐像 (虚空蔵堂本尊)	有形文化財(彫刻)	布佐 2318(延命寺)	R7.9.30
23	木造虚空蔵菩薩坐像 (虚空蔵堂本尊前立)	有形文化財(彫刻)	布佐 2318(延命寺)	R7.9.30
24	木造薬師如来坐像(本堂本尊)	有形文化財(彫刻)	布佐 2318(延命寺)	R7.9.30
25	木造如来坐像(虚空蔵堂所在)	有形文化財(彫刻)	布佐 2318(延命寺)	R7.9.30
26	木造馬頭観音坐像	有形文化財(彫刻)	布佐 2318(延命寺・旧布佐観音堂)	R7.9.30

国登録有形文化財

	名称	種別	所在地	指定年月日
1	根本家住宅	有形文化財(建造物)	都部(私有地)	R3.10.14
2	榎本家住宅	有形文化財(建造物)	布佐(私有地)	R6.12.3

(7)我孫子市教育行政年表

昭和３０年	４月	我孫子町、湖北村、布佐町が合併して我孫子町となる。
		小学校６校７７学級、中学校３校３１学級
		我孫子第四小学校、合併に伴い児童数が急増、２部授業となる。
	５月	新生我孫子町初の教育委員会が開催される。教育指標として、①教育委員会設置目的の達成②学校教育の刷新③家庭教育の改善④社会教育の実践強化を掲げる。
昭和３１年	２月	我孫子第一小学校講堂建築工事竣工。
	４月	教育委員選挙（公選）で３人が当選。
	６月	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が公布。教育委員は任命制、委員は５人となる。
	１０月	新法施行。教育委員に公選で選ばれていた４人と女性１人を任命。
昭和３２年	４月	第１回我孫子町文化祭開催。
昭和３３年	３月	我孫子町公民館条例、我孫子町社会教育委員条例が制定される。
	１０月	高野山古墳群発掘調査始まる。
昭和３４年	３月	我孫子第一小学校、我孫子第三小学校、我孫子第四小学校の校舎増築工事が竣工。
昭和３５年	４月	日本学校安全会の業務が開始。児童一人当たり掛け金は年額２０円、保護者負担は１０円、町負担１０円。
	７月	社会教育委員会が再発足。５人の委員を任命。
	１２月	町議会、我孫子町青少年問題協議会に関する条例を可決。
昭和３６年	４月	高校生を対象とした奨学資金（貸付月額２千円以内、無利子）制度を設置。
	９月	我孫子中学校で火災が発生、６教室を除いて焼失。焼失をまぬがれた教室、我孫子第一小学校小講堂・特別教室、我孫子第二小学校、自動車教習所を使って分散授業。
	１１月	我孫子中学校、仮設校舎（１２教室）が完成。
昭和３７年	４月	スポーツ振興法が施行。町体育協会が発足。
	６月	体育指導員１０人が決まる。
		体育協会主催第１回我孫子町野球大会が農電、湖北中グラウンドで開催される（体協参加１１チーム）。
	７月	町議会、湖北中学校校地拡張の土地１，１５５㎡の取得議案を可決。
	８月	手賀沼、利根川等我孫子地区周辺の川沼を水泳禁止区域とし、広報に掲載するが８月５日我孫子第四小学校児童が利根川で水死。
	９月	青山水門下堤防内１ha を借り受け、町民運動場を開設。
	１１月	文化展覧会（日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真、生花、手芸、児童画、標本、菊鉢植等出展１，２８８点）、庭球大会（１１チーム）、芸能祭（歌謡曲、日本舞踊、バレエ）を開催。
		我孫子第一小学校・布佐小学校給食室を建設。３月から週５日パン・ミルクを主とした給食開始。１日３０円。
昭和３８年	２月	山中湖でスケート教室開催（参加者４５名）。
		我孫子町野球連盟設立総会が役場で開かれる（参加２２チーム）。
	４月	３８年度卒業生は小学校６０１人、中学校６６３人。
		中学校の高等学校進学率は、我孫子中学校２０２人７４％、湖北中学校１００人６４％、布佐中学校６２人６２％、３校合わせて７０％と広報に掲載。
	７月	教育委員会主催キャンプ教室を開催。
昭和３９年	３月	町議会、町立小学校、町立中学校設置条例を定め、公の施設として、名称・位置を定める。
	４月	青少年相談員制度を設置、４９人を任命。
	８月	青少年相談員・教育委員会主催の映画祭を学校校庭６箇所で開催。
	１０月	第１回町内小中学校陸上競技大会を我孫子中学校で開催。
		総合文化祭（芸能祭、町民運動会、総合展覧会、菊花祭、俳句大会、軟式庭球大会、卓球大会、短歌会）を開催。
	１１月	我孫子町華道連盟発足。
昭和４０年	２月	我孫子町体育公社を設立。陸上競技場・野球場・水泳プール・テニスコート・体育館の建設と運営、スポーツ行事の振興事業を計画。
	３月	青少年総合対策の一環として青年館を建築。

昭和４０年	７月	我孫子第四小学校、教室棟１棟鉄筋コンクリート３階建増築工事竣工。
	８月	我孫子第一小学校水泳プールが完成、プール開き。
昭和４１年	１月	成人式パーティー（我孫子第一小学校講堂）を実施。
	２月	広報で学校給食の実施状況を報告。
		実施校　我孫子第一小学校（７９６人）、我孫子第三小学校（２３０人）、湖北小学校（７１２人）、布佐小学校（４７５人）、湖北中学校（４０３人）　計２，６１６人
		給食費　１人１ヶ月　小学校７００円　中学校８００円
	９月	中央公民館開館式。
		湖北小学校特殊学級教室を建築、竣工。
	１０月	我孫子中学校体育館建設、竣工。
		１０日を「体育の日」とし、国民の祝日となる。
	１１月	公民館講座開始。
		青年教室～農業講座、商業講座、書道講座、自動車整備講座
		成人教室～園芸講座、趣味の講座、婦人教室、手芸講座、華道講座、スポーツ教室
昭和４２年	６月	婦人学級出張講座を湖北・布佐地区を対象に開始。
昭和４３年	１０月	町役場新庁舎で業務開始。教育委員会事務局は２階に。
	１１月	こども県展（美術）で湖北小学校が学校賞を受賞。
昭和４４年	３月	「我孫子古墳群」刊行。
	４月	財団法人「体力づくり協会我孫子支部」発会。
	７月	全国放送陸上競技大会で湖北中学校が団体で総合優勝。
	１０月	湖北台西小学校、湖北台中学校をそれぞれ湖北小学校、湖北中学校内に開校。
	１１月	町民体育大会を開催。
昭和４５年	７月	市制施行。
昭和４６年	３月	我孫子第一小学校、移転開校。
	４月	我孫子市文化連盟が発足（１６団体）。
	５月	市内４中学校の進路状況を広報に掲載。
		卒業生５２３人。進学者４７４人、就職者３０人、うち定時制高等学校入学者５人、各種学校入学者８人、在家庭１１人。進学者の６０．５％が公立高等学校。
	６月	湖北台中央公園に野球場１面、テニスコート４面が完成。
	１１月	東葛駅伝で我孫子中学校が５連覇、湖北中学校が２位。
昭和４７年	１月	成人式を暖房等が整った施設ができるまで中止することを決定。
	３月	我孫子市文化財保護条例を制定。
	４月	教育委員会事務局組織が係制となる。
		庶務課（庶務係、財務係）、学校教育課（学務係、管理係）
		社会教育課（社会教育課係、社会体育係）、指導室、公民館
		社会科副読本「わたしたちの我孫子」初版発行。
	５月	我孫子第一、我孫子第二、我孫子第四、湖北台西、湖北（布佐は９月から）の各小学校の付近５００m範囲を対象に道路のスクールゾーンを設定。
	７月	視聴覚教材の利用促進を図るため、１６ミリ映写機講習会を開催。
		我孫子第一小学校、開校１００周年を記念して愛唱歌を募集。
		手賀沼公園市民プール完成。８月１日プール開き。
昭和４８年	１月	新春マラソン大会を開催。
	３月	我孫子第一小学校・布佐小学校創立１００周年記念式典を開催。
		市議会、市史編さん委員会条例を可決。
	４月	成人式に代わる「若人の集い」を我孫子高等学校で開催。
	９月	市民プールで市民水泳大会を開催。
	１０月	第１回我孫子市ママさんバレーボール大会を開催。
昭和４９年	１月	成人式を我孫子中学校体育館で開催。
	５月	長寿大学を新設。
	７月	湖北中学校の女子体操部が県中学生体操競技選手権大会で初優勝。
	９月	中央公民館で家庭教育学級を開設。
昭和５０年	４月	市史編さん委員会を設置。
	５月	高野山小学校開校。
	１０月	中央公民館図書室で図書の貸し出しを開始。
	１１月	市史研究センター設立総会開催。

昭和５０年	１２月	我孫子第三小学校が柴崎区画整理区域内に移転。
昭和５１年	４月	根戸小学校、久寺家中学校開校。湖北中学校移転開校。
	７月	市史の研究雑誌「我孫子市史研究」を創刊。
昭和５２年	４月	湖北台東小学校開校。湖北小学校移転。
	６月	布佐地区（字北郷の利根川堤防の内側）に少年野球専用球場が完成。
昭和５２年	７月	夏休み期間中の学校プールを子ども会育成会連絡協議会に加盟の団体又はＰＴＡに開放。
	１１月	日本火災海上保険グラウンドで第１回市民運動会開催。
		市民陸上競技記録会を中央学院大学を会場に開催。
昭和５３年	８月	湖北地区公民館開館。
		移動図書館車（そよかぜ号）運行開始（１１ステーション）。中央公民館図書室は毎日貸し出しとなる。
		我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団発足。
	１０月	市民体力づくり大会（旧市民運動会）を開催。
昭和５４年	４月	教育委員会事務局が庶務課、学校教育課、社会教育課、保健体育課、市史編さん室、指導室の４課２室体制となる。
		白山中学校開校。
		公民館講座につくし野教室を設置。
		家庭教育学級を各小学校区１０箇所で開催（月１回、年１０回）。
	６月	市議会、市民会館の設置及び管理に関する条例を制定。
	１１月	市民会館開館。社会教育課の事務室を移転。
		市民図書館開館。窓口事務にコンピュータを導入。
	１２月	我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団第１回定期演奏会。
		市議会、新木小学校の設置、市民図書館設置等に関する条例を制定。
昭和５５年	４月	新木小学校開校。
		視聴覚ライブラリー、少年センターを市民会館内に開設。
	９月	国立スロバキア少年少女合唱団公演を開催。
昭和５６年	１月	水運用管理センター４階に教育委員会事務室移転。
	３月	第１回公民館まつりを開催。
		市議会、我孫子市スポーツ振興審議会条例を制定。
	４月	並木小学校開校。
	５月	公民館に婦人大学（学習期間２年）を開校。
	８月	市民図書館「第１回夏休みお楽しみ会」を開催。
	１０月	郷土史の夕べとして筑波大学と我孫子市のジョイント公開歴史講座（１０回）を開催。
	１１月	ファミリースポーツ講習会を開催。
		手賀沼に響け郷土のはやし（民俗芸能公演）を開催。
昭和５７年	３月	地域歴史展「白樺派と我孫子」「利根川・手賀沼百景」展を開催。
	７月	市民図書館湖北台分館開館。
	１０月	市史編さん室が民俗学講座を開設。
	１２月	青少年相談員・少年指導員・学校関係者・民生児童委員などの協力により「青少年健全育成推進会議」を設置、啓発活動を進める。
		史跡文学遊歩道計画基本計画を策定。
昭和５８年	２月	「明日の子どもを考える」社会教育ゼミナールを開催。
		社会教育に関する市民意識調査を市民３，０００人を対象に実施する。
	４月	布佐南小学校開校。
	１１月	公開講演会・８３世界コミュニケーション年に寄せてドナルド・キーン氏を招いて「国際社会と日本文化」を開催。
	１２月	第１回市民図書館名画座「理由なき反抗」を市民会館で上映。
昭和５９年	３月	小中学生２３９人に５８年度体育・文化活動表彰。
		社会教育課事務室を教育委員会事務局へ移転。
	４月	市民会館の管理運営を教育長部局に移管。
		プロゴルファー青木功氏に市民文化スポーツ栄誉章第１号を贈る。
	８月	湖北台西小学校プールを試験的に一般開放する。
		全国中学生陸上選手権大会で湖北中学校３年染谷早苗さんが女子１００ｍタイム１２秒１９で優勝。
	１１月	山階鳥類研究所落成式。

昭和６０年	１月	元旦マラソンに１，０８１人が参加。
	２月	並木小学校に屋根付き土俵「並木小ちゃんこ道場」が完成、九重部屋・関脇保志関を招いて土俵開き。
		長寿大学祭を開催。
	７月	市史研究センターが「ＴＨＥアビコ」を出版。
	８月	湖北台西小学校、湖北小学校でプールの一般開放。
	１２月	社会教育課「国際青年年記念ラリー」、「あびこ１ＹＹフェスティバル－２００１われらの我孫子－」を開催。
		市議会、新しい基本構想を可決、６２年４月からスタート。
昭和６１年	３月	社会教育課が市民会館で国際婦人の１０年実行委員会と「あびこ婦人フェスティバル」を開催。
	６月	我孫子市文庫連絡会が発足。
	９月	市民体育館完成、利用受付開始。体育課は体育館内に移転。
	１０月	市民体育館開館。
昭和６２年	４月	教育委員会事務局組織を改正し、社会教育図書館係を社会教育課から分離。
	７月	市民図書館布佐分館開館。
	９月	市民体育館野球場・テニスコートに夜間照明設備完成、使用開始。
	１０月	第１回我孫子市絵画展開催。
昭和６３年	２月	志賀直哉の書斎移築復元記念式典を開催。
	１１月	第１回親と子のふれあい教室「冬の野鳥観察とハイキングのつどい」を開催。
	１２月	市の鳥にオオバンが指定される。
平成元年	４月	教育委員会事務局が２部制となる。
		教育総務部　総務課・学校教育課・指導課
		社会教育部　社会教育課（博物館係を新設）・体育課・市史編さん室・公民館・図書館（課相当組織となり、総務係、奉仕係を新設）
	７月	第１回我孫子市民陸上大会を開催。
	８月	第１６回全日本中学校陸上競技選手権大会で湖北中学校が４×２００ｍで優勝。
平成２年	３月	我孫子市社会基本計画策定。
	４月	教育委員会事務局組織として社会教育課から鳥の博物館を分離。
		文化連盟講座を開講。
		学習図鑑「ふるさと手賀沼」が完成。小学５・６年生と中学生に配布。
	５月	鳥の博物館開館。初代館長に黒田長久山階鳥類研究所長が就任。２２日から一般公開。
		第４回柳田国男ゆかりサミットを利根町と共催で開催。
	９月	JET プログラムにより ALT 採用開始。
平成３年	３月	市議会、市青年館設置及び管理に関する条例の一部改正で３２の青年館のうち２０青年館を廃止する条例を可決。
	４月	鳥の博物館が「あびこ鳥便り」を創刊、入館者に配布。
		鳥の博物館入館者１０万人を達成。
	５月	バードウィーク探鳥会開催。
	６月	鳥の博物館展示案内書を刊行、ミュージアムショップで頒布。
		我孫子市水泳連盟が発足。
	７月	市民プールオープン。小学校プールは湖北小学校、湖北台西小学校、湖北台東小学校、布佐南小学校で一般開放、他の小学校は団体開放を実施。
	８月	レニングラード少年少女合唱団コンサートを開催。
		ヤングミュージックフェスティバルを市民会館で開催。
		長欠対策として水海道あすなろの里でふれあいキャンプを実施。
	９月	小中学生理科作品展を中央公民館で開催。 （論文の部２８３点、工夫工作の部２３２点、標本の部１３４点）
		市民大学開放講座として、中央学院大学オープンカレッジ（２０講座）、川村学園女子大学（１４講座）を実施。
	１０月	市民体力づくり大会を市民陸上競技場（利根川河川敷）で開催。
	１１月	全国学校体育研究会で新木小学校が全国保健体育優良校の表彰を受ける。
	１２月	鳥の博物館で鳥だこ教室開催。
		我孫子市スポーツ振興基金条例を制定。
平成４年	１月	新春マラソン大会開催（湖北台中学校周辺）、参加者１，０９８人。
	２月	長寿大学祭を市民会館で開催。

平成４年	２月	第１回鳥学講座を開催。
		初心者向け古文書解読講座を中央公民館で開催。
	３月	公民館公開講座男塾、公開講演会を開催。
	４月	湖北地区公民館が完成、竣工記念式典を開催、利用は５月１日から。
	６月	図書館全館オンラインシステム化が完了、電算可読目録の導入。
		市議会、我孫子市教育研究所設置条例を制定。
	９月	学校週５日制が実施される。
		教育研究所及び適応指導教室「ヤング手賀沼」を設置。
	１１月	中央公民館が優良公民館として文部大臣表彰を受賞。
	１２月	教育委員会事務局の勤務体制が完全週５日制となる。
平成５年	４月	学校休業日・終了後の小学校運動場・体育館を一般開放。
		ALT の直接雇用による採用開始。
	５月	中学校の学校給食を開始（白山中学校）。
	６月	ふれあいキャンプ場利用開始。
平成６年	４月	湖北小学校郷土資料室を開設。
	１１月	我孫子市民プラザがオープン。
平成７年	４月	我孫子市情報公開条例施行。
		鳥の博物館長が非常勤特別職から一般職となる。
	５月	我孫子市指定文化財第１号に「二十一仏武蔵石板碑」を指定。
	１０月	第１回手賀沼（ハーフ）マラソン開催。
平成８年	４月	鳥の博物館ホームページ開設。
	５月	鳥の博物館入館者５０万人を突破。
	１２月	我孫子市民コンサートとして「第九」を演奏。
平成９年	４月	市民体育館に湖北駅から送迎バス運行。
		市民図書館本館で祝日開館を始める。
	１２月	こども１１０番の家制度スタート。
平成１０年	３月	我孫子市社会教育基本計画（改訂版）を策定。
	４月	中学校給食の調理業務委託を開始。
		心の教室相談員を全中学校に配置。
平成１１年	４月	我孫子市補助金が公募制となる。
平成１２年	１月	市民体育館に武道場完成、使用開始。
	４月	教育委員会事務局組織の社会教育部を生涯学習部と改称、文化課を新設。
	１１月	シドニー五輪柔道５２ｋｇ級メダリスト楢崎教子選手に市民文化スポーツ栄誉章を授与。
平成１３年	２月	取手市とスポーツ施設相互利用協定を締結し取手市グリーンスポーツセンターの市民利用が可能となる。また市内の民間温水プールの一部も協定により市民開放を実施。
	３月	７年１２月から無料開放していた旧村川別荘を取得。
	４月	図書館と公民館を統括し、生涯学習を推進する組織として「生涯学習センター」を設置。
		生涯学習センターの愛称を公募、「アビスタ」と決定。
	５月	五本松運動広場を一般無料開放。
		学校評議員制度スタート。
		第１回子ども議会開催。
	８月	我孫子市生涯学習市民意識調査を実施（調査対象者２，０００人）
	９月	我孫子市めるへん文庫基金条例の制定。
	１１月	第１回ジャパン・バードフェスティバルを開催。
平成１４年	３月	生涯学習市民委員会、「我孫子市生涯学習推進計画・提言書」を提出。
	４月	我孫子市第３次総合計画第１次基本計画第１次実施計画スタート。
		我孫子市生涯学習センター「アビスタ」開館。駐車場有料化。アビスタ内市民図書館が平日２０時まで夜間開館。
		教育委員会事務局生涯学習部社会教育課生涯学習担当を生涯学習担当（課相当組織）に改編。
		「めるへん文庫」創設。作品を募集（１５年１月１１日入賞者表彰式）。
		市民ミュージカル原作を募集。（「北に帰るのを忘れた白鳥」に決定。）
		我孫子市市民図書館サービス計画を策定。
		五本松運動広場整備方針策定。
	５月	我孫子市体育館拡張事業計画策定。
		社会教育委員を公募。

平成１４年	７月	布佐南小学校プールを夏期休業中市民に無料開放。
	１１月	図書館公式ホームページ開設。
	１２月	アビスタ利用者５０万人を達成。
平成１５年	３月	我孫子市生涯学習推進計画～自分づくり人づくり心のまちづくり～を策定。
	４月	教育委員会ホームページを開設。
		小学校給食の調理業務委託を開始。
		教育研究所に研究指導員を配置し、教育相談業務を開始。
		全 ALT が市直接雇用となる（JET プログラム採用廃止）。
	５月	我孫子市における「子育て」「子育ち」環境等に関する総合調査を実施。（調査対象者３，０００人）。
	６月	我孫子市温水プール建設検討委員会報告を提出。
	８月	市民ミュージカル「北へ帰るのを忘れた白鳥」を上演。
		アビスタ利用者１００万人を達成。
	９月	老朽化により市民プールを廃止。
		アビスタ内市民図書館利用者７０万人を突破。
	１０月	生涯学習出前講座８８メニューでスタート。
平成１６年	３月	我孫子市史「近現代篇」を刊行。
	４月	体育課内に高校総体推進室を設置。
		我孫子市第３次総合計画第１次基本計画第２期実施計画策定。
		我孫子市社会教育推進計画策定。
		図書館子どもの読書活動優秀実践図書館団体文部科学大臣表彰受賞。
		教育研究所に特別支援教育担当を設け、指導主事、福祉主事を配置し、特別支援教育の体制づくりを開始した。
	７月	小学校に安全管理員を配置し、学校生活において児童が安全に生活できる環境を整える。
	１０月	総合型地域スポーツクラブ・根戸エンジョイクラブ設立。
		アテネオリンピック・野球競技、日本チーム銅メダル獲得。
		代表選手の金子誠選手に我孫子市民文化スポーツ栄誉章授与。
平成１７年	４月	生涯学習担当を生涯学習部から分離し、単独部局の生涯学習推進室を設置。生涯学習部は社会教育部に改称。市史編さん室の廃止。
	６月	ロシア・バレエ・フェスティバル開催。
	８月	第１回チャレンジウォーク始まる。
		我孫子市民ミュージカル「バレンタイン・ドリーム」上演。
		２００５千葉きらめき総体なぎなた競技開催。
	１０月	小学校コンピュータ教室機器入れ替え、学校間ＬＡＮ使用開始。
		我孫子市スポーツ振興応援団設立。
	１１月	図書館ホームページからの資料予約サービス開始。近隣センターでの図書館サービス開始。
平成１８年	３月	我孫子市湖北地区図書館用地選定に係わる調査報告書策定。
	４月	教育研究所が指導課から分離、課相当組織となる。所内に特別支援教育センター、教科書センターを設置。生涯学習推進室に、生涯学習担当（課相当組織）を新設し、社会教育部から公民館、図書館の２課が移行し３課に。高校総体推進室の廃止。
		学校給食に我孫子産米を導入。
		体育施設インターネット等予約スタート。
		財団法人我孫子市都市建設公社を指定管理者として公民館を管理運営させる。
		図書館開館日・開館時間の拡大。
		（館内整理日の開館・市民図書館　土・日・祝も２０時まで時間延長）
		総合型地域スポーツクラブ・三小健康クラブ及び湖北はつらつクラブ設立。
	７月	キャリア教育推進組織体制確立、小学校１２校、中学校５校で職場体験学習実施。
		アロハ・フェスタｉｎアビコ’０６開催。
	１２月	いじめ対策委員会設置、全小中学校で共通アンケートを実施。
		五本松運動広場クラブハウス解体。
平成１９年	２月	鶏民芸品展－秋篠宮コレクション－開催。
	４月	心の教室相談員を全小中学校１９校に配置した。
	５月	旧村川別荘が市指定文化財に指定。
	６月	我孫子第一小学校で「あびっ子クラブ」がスタート。
	７月	手賀沼文化拠点整備計画の策定。

平成１９年	７月	小学校プール一般開放。我孫子第一小学校・湖北小学校・湖北台西小学校、根戸小学校・布佐南小学校・我孫子第三小学校・我孫子第四小学校・新木小学校で実施。
		２０１０年第６５回国民体育大会の千葉県開催が決定。
	８月	アロハフェスタで歯ッピースマイルフォトコンテストを開催。
		我孫子市湖北地区図書館用地選定に係わる調査報告書（第二次）策定。
	９月	小・中学校にＡＥＤを設置。
	１１月	プエリ・ガウデンテス少年合唱団が我孫子市合唱祭で公演。
	１２月	新木小学校、高野山小学校で人権教室を開催。
		第６５回国民体育大会なぎなた競技の会場地として決定。
平成２０年	１月	図書館内検索コンピュータからの資料予約サービス開始。
	２月	手賀沼文化拠点整備計画実行計画の策定。
	３月	根戸小学校の増築校舎が完成。
	４月	つくし野多目的広場完成。
		社会教育部と生涯学習推進室を統合し生涯学習部に改称。学び推進課の新設。体育課内に国体推進室を設置。
		教育研究所にケースワーカーを配置し、相談体制の充実を図った。
	５月	第６５回国民体育大会我孫子市実行委員会設立発起人会を開催。
	７月	第８５回東京箱根間往復大学駅伝競走総合第５位の中央学院大学陸上部にスポーツ功労章授与。
		古戸里神楽が市指定文化財に指定。
		ゆめ半島千葉国体我孫子市実行委員会設立総会及び第１回実行委員会総会を開催。
平成２１年	１月	鳥の博物館元旦開館。
		第１６回全国小学生バドミントン選手権大会男子ダブルス５年生以下優勝の松本多聞選手にスポーツ功労章授与。
		我孫子市学校支援地域本部事業「湖北台地区学校サポートセンター」発足。
	２月	五本松運動広場整備基本計画の策定。
		布佐下多目的広場整備基本設計の策定。
	３月	湖北地区図書館基本計画策定。
	４月	生涯学習部を６課から４課に再編。生涯学習課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館。 少年センターを生涯学習部社会教育課から教育総務部指導課に移管。
		特定非営利活動法人我孫子市体育協会・株式会社東進ビルシステム共同事業体を指定管理者として市民体育館等を管理運営させる。
		白樺文学館が市に寄贈され、市の運営となる。
	５月	我孫子市生涯学習推進計画（第二次）～自分づくり人づくり心のまちづくり～を策定。
		第５０回都道府県対抗なぎなた大会（第６５回国民体育大会（ゆめ半島千葉国体）なぎなた競技リハーサル大会）を開催。
	６月	我孫子市文化芸術振興条例公布。
	７月	湖北地区図書館建設用地の一部を債務負担行為で土地開発公社が先行取得。
		第６４回国民体育大会関東ブロック大会なぎなた競技を市民体育館で実施。
	９月	我孫子市文化施設整備基金条例の制定。
	１１月	湖北地区公民館指定管理者名称変更。
平成２２年	１月	旧杉村楚人冠邸が市指定文化財に指定。
	２月	我孫子市文化芸術振興基本方針策定。
	４月	事業仕分けにより週５日制事業・男塾・わんぱくスクール廃止。
	９月	第６５回国民体育大会ゆめ半島千葉大会「なぎなた競技会」を開催。
	１０月	湖北小学校増田文庫開設。
	１２月	我孫子市文化財保存基金条例を制定。基金を設置。
平成２３年	３月	志賀直哉邸跡書斎が市指定文化財に指定。
	４月	国体推進室の廃止。
	１１月	杉村楚人冠記念館開館。
平成２４年	３月	葺不合神社が市指定文化財に指定。
	４月	中学校補助教材「ふるさと我孫子の先人たち」が完成。中学生１・２・３年生に配付。
	６月	図書館資料の返却延滞者に対し、図書館資料の貸出し及び予約の停止措置を開始。
	８月	平井康翔選手（我孫子第一小学校、我孫子中学校出身）ロンドンオリンピック競泳男子１０キロマラソン出場。
	１２月	旧井上家住宅が市指定文化財に指定。

平成２５年	１月	いじめ・悩み相談ホットラインを教育研究所に開設。
	３月	我孫子市教育振興基金条例の制定。
	４月	湖北地区公民館指定管理者が変更となる。
	１０月	我孫子市小中一貫教育推進委員会発足。
平成２６年	２月	いじめ・悩み相談ホットライン　メール相談開始。
		我孫子市小中一貫教育基本方針策定。
		日立精機２号墳が市指定文化財に指定。
	４月	指導課内に小中一貫教育推進室の設置。
		小中一貫教育推進モデル地区として布佐中学校区を指定。
	６月	全国女子大学ゴルフ対抗戦の優勝をたたえ、中央学院大学ゴルフ部女子にスポーツ功労賞を贈呈。
	７月	国際アンデルセン賞作家賞を受賞した上橋菜穂子さんに市民文化スポーツ栄誉章を贈呈。
	１０月	我孫子市いじめ防止対策推進条例およびいじめ防止基本方針の制定。
	１１月	手賀沼殉難７０周年式典として、手賀沼殉難教育者慰霊式を執り行う。
平成２７年	４月	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、新たな教育委員会制度がスタート。
		「Abi☆小中一貫カリキュラム」の策定。
	７月	我孫子市教育大綱の策定。
	１１月	手賀沼殉難教育者之碑を湖北小学校に移設。
平成２８年	２月	ヒカリモ発生地が市指定文化財に指定。
		全中学校（普通教室、特別教室）にエアコン設置。
	３月	我孫子市社会教育委員条例とあびこ楽校協議会運営要綱を廃止し、我孫子市生涯学習審議会条例を制定。
		我孫子市教育振興基本計画の策定。
	４月	我孫子市社会教育委員会議とあびこ楽校協議会を統合し、生涯学習審議会を設置。
	５月	全小学校（普通教室、特別教室）にエアコン設置。
	７月	湖北郷土資料室の開室。
	１０月	小中一貫教育布佐中学校区公開研究会を実施。
平成２９年	１月	スポーツ功労表彰授与。第３３回全国少年少女レスリング選手権大会女子の部３年生３０キログラム優勝の木村美海さん、第３９回全国 JOC ジュニアオリンピックカップ夏季２００メートル自由形優勝の柏崎清花さん、第５３回日本女子学生ゴルフ選手権大会優勝の金澤志奈さん。
	３月	「我孫子市幼保小連携・接続カリキュラム」が完成。
	８月	湖北小学校の木造校舎(昭和２８年建築)を一般公開後、解体。
	１０月	我孫子市子ども見守り隊の発足。
	１２月	第８５回全国高等学校総合体育大会２００ｍ自由形優勝の柏崎清花さんにスポーツ功労表彰を授与。
平成３０年	１月	第２５回全国中学校駅伝大会優勝の白山中学校男子チームにスポーツ功労表彰を授与。
		湖北地区公民館の愛称を公募、「コホミン」と決定。
	４月	我孫子市民体育館長寿命化計画（個別施設計画）の策定。
	６月	第１７回全国小学生ソフトテニス大会女子６年生シングルスの部優勝の泉屋初希さんにスポーツ功労表彰を授与。
平成３１年	１月	第３５回全国少年少女レスリング選手権大会優勝の木村美海さんにスポーツ功労表彰を授与。
	２月	第１８回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」走幅跳優勝の加茂川隆文さん、砲丸投、ソフトボール投優勝の船水梓緒里さん、２００ｍ優勝の原野史菜さんにスポーツ功労表彰を授与。
		白泉寺　待道講版木　附　待道講資料が市指定文化財に指定。
	３月	第７３回国民体育大会水泳競技大会４×１００ｍメドレーリレー優勝の柏崎清花さんにスポーツ功労表彰を授与。
		我孫子市子どもの読書活動推進計画の策定。
	４月	我孫子市小中一貫教育完全実施。
令和２年	２月	竹内神社例大祭が市指定文化財に指定。
	３月	「我孫子市幼保小連携・接続カリキュラム（方針編）」改訂。
		我孫子市学校施設個別施設計画の策定。
		我孫子市図書館長寿命化計画（個別施設計画）の策定。
		我孫子市公民館長寿命化計画（個別施設計画）の策定。
		我孫子市白樺文学館長寿命化計画の策定。

令和２年	３月	第３６回全国少年少女レスリング選手権大会優勝の木村美海さん、２０１９年度第３回日本知的障碍者選手権新春水泳競技大会優勝の上村温さん、DUNLOP SRIXON 全日本ジュニアテニス選手権’１９ supported by NISSHINBO１８歳以下女子ダブルス優勝の長門桃子さん、第９５回日本学生選手権水泳競技大会４００m個人メドレー優勝の柏崎清花さん、第９５回日本選手権水泳競技大会１５００m自由形優勝・ジャパンオープン２０１９ １５００m自由形優勝の平井彬嗣さんにスポーツ功労表彰を授与。
	５月	鳥の博物館開館３０周年。
	７月	適応指導教室「ヤング手賀沼」が長雨で雨漏り、漏電のため使用不可となる。７月はコホミン調理室､第一学習室を使用し､９月からは湖北台東小学校内地域交流室に活動の場所を移した。
	１１月	市制５０周年記念事業「山下清展」開催。
	１２月	我孫子市文化財保存活用地域計画が文化庁より認定される。
令和３年	１月	鳥の博物館開館３０周年を迎え鳥の博物館友の会より鳥の博物館へ簡易電動リフトの寄贈。
	２月	井上家資料が市指定文化財に指定。
	３月	「我孫子市教育委員会と公益財団法人山階鳥類研究所との連携に関する協定書」締結。
		我孫子市屋外スポーツ施設個別施設計画の策定。
		第１次教育 ICT 基盤整備完了。全小中学校に１人１台タブレット型端末配置。
		第６２回日本選手権（25m）水泳競技大会男子１５００m自由形優勝の平井彬嗣さんにスポーツ功労表彰を授与。
	４月	全中学校に飲料自動販売機設置。
		けやきプラザ１１階うなきちさんの家に適応指導教室「ヤング手賀沼」分室を開設。
	６月	湖北台東小学校をモデル校として水泳指導を民間のスイミングスクールへ委託。
	８月	全中学校体育館にエアコン設置。
	９月	我孫子市鳥の博物館基金条例の制定。
	１２月	「Abi☆小中一貫カリキュラム」改訂。
令和４年	２月	子の神５号墳が市指定文化財に指定。
	３月	市指定文化財「志賀直哉邸跡書斎」をクラウドファンディングにより修復。
		第９７回日本学生選手権水泳競技大会４００m個人メドレー優勝の柏崎清花さんにスポーツ功労表彰を授与。
	４月	組織の見直しにより、担当制から係制に移行。
		教育研究所を教育相談センターに名称変更。適応指導教室「ヤング手賀沼」を教育支援センターに名称変更し、愛称を本室は「かけはし」、分室は「ひだまり」とする。
		コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入。
	６月	小学校（３校）の水泳指導を民間のスイミングスクールへ委託。
	７月	杉村楚人冠陶板句碑が市指定文化財に指定。
令和５年	１月	成年年齢を 18 歳とする法改正を受け、成人式は「二十歳成人式」と名称を変更し、これまで通り 20 歳の方を対象に開催。
	３月	我孫子市スポーツ推進計画の策定。
		我孫子市白樺文学館基金条例の制定。
		我孫子アートな散歩市企画委員会より鳥の博物館へジャイアントモアモニュメントの寄贈。
		BNP PARIBAS WORLD TEAM CUP（車いす女子テニス）優勝の船水梓緒里さん、IFCPF World Championship２０２２（CP サッカー）３位の芳野竜太さん、２０２２年ビアスレ・トライアスレ（近代２種・３種）世界選手権大会ビアスレ U１７個人４位の石井琉之介さん、FIBA ３X３ U２３ World Cup ２０２２（3X3バスケットボール）６位の改田拓哉さん、JFA 第１６回全日本 0-７０サッカー大会優勝の今橋一さん、第２２回全国障害者スポーツ大会「いちご一会　とちぎ大会」５０m自由形優勝・第２５回日本知的障害者選手権水泳競技大会４００m個人メドレー優勝の上村温さん、２０２２全日本体重別空手道選手権大会＋５０ｋｇ優勝・第５４回オープントーナメント全日本空手道選手権大会女子トーナメント優勝の鵜沢菜南さん、第２２回全国障害者スポーツ大会「いちご一会　とちぎ大会」１００m優勝・リレー優勝の原野史菜さん、日本スポーツマスターズ２０２２ソフトテニス競技優勝の小笠原敬之さん、Women’s World Floorball Championship ２０２３ Qualification AOFC（女子フロアボール）優勝の和田菜緒さんにスポーツ功労表彰を授与。
	４月	中学校６校と小学校３校に校内教育支援センターを設置。
	６月	小学校（８校）の水泳指導を民間のスイミングスクールへ委託。
	８月	下ヶ戸貝塚出土品一括が市指定文化財に指定。
		夏休み期間中の学校プールの一般開放を取りやめ、主に小中学生を対象に民間の屋内プール施設を活用したプール開放を実施。

令和６年	３月	五本松運動広場整備基本計画の策定。
		第 96 回 選抜高等学校野球大会に中央学院高校が出場。全国ベスト４となる。
		旧井上家住宅に屋外トイレを設置。
		DANCE WORLDS CHAMPIONSHIP（ダンス）２位の山田彩未さん、ヴィシー２０２３Virtus グローバルゲームズ男子２００ｍバタフライ（水泳）２位の上村温さん、令和５年度全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技大会北海道総体２０２３（バレーボール）優勝の櫻井信人さん、第４０回全日本実業団パワーリフティングノーギア選手権大会（パワーリフティング）優勝の小関未樹さん、FIBA３×３Ulaanbaatar Super Quest ２０２３（バスケットボール）５位の改田拓哉さん、第１３回全世界空手道選手権大会（空手）準優勝の鵜沢菜南さん、ジャパネット杯春の高校バレー第７６回全日本バレーボール高等学校選手権大会（バレーボール）優勝の楠本海斗さん、日本スポーツマスターズ２０２３福井大会（ソフトテニス）優勝の小笠原敬之さん、The ２０２３ BNP World Paribas Team Cup（車いすテニス）準優勝の船水梓緒里さん、第１０回全日本シニア東西対抗ソフトテニス大会（ソフトテニス）優勝の永田眞由美さんにスポーツ功労表彰を授与。
		我孫子市子どもの読書活動推進計画（第二次）の策定。
	４月	小学校３校に校内教育支援センターを追加設置。
	６月	湖北行政サービスセンターの閉鎖に伴い湖北郷土資料室を閉室。
		小学校（１１校）の水泳指導を民間のスイミングスクールへ委託。
	９月	小学校２校に校内教育支援センターを追加設置。
	１０月	白樺文学館の照明等更新工事完了。
		図書館あびこ電子図書館サービスを開始。
	１２月	布佐榎本家住宅が国登録文化財となる。
		旧ヤング手賀沼の建物を湖北文化財収蔵庫として整備。それに伴い建物に接続していた旧湖北行政サービスセンターの建物を解体。
令和７年	３月	我孫子市鳥の博物館展示リニューアル基本計画の策定。
		令和６年度全国中学校体育大会第５５回全国中学校柔道大会（柔道）優勝の福田悠真さん、２０２４年度第２７回日本知的障害者選手権水泳競技大会４００m個人メドレー（水泳）優勝の上村温さん、令和６年度全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技大会（バレーボール）優勝の櫻井信人さん、世界クラシック・エクイップベンチプレス選手権大会（パワーリフティング）優勝の小関未樹さん、バタフライ第４３回全日本クラブ卓球選手権大会優勝（卓球）の川久保直哉さん、第２３回全国障害者スポーツ大会「SAGA２０２４」陸上競技１００m、２００m（陸上）優勝の原野史菜さん、令和６年度全国高等学校総合体育大会体操競技大会・新体操大会兼全国高等学校体操競技・新体操選手権大会個人種目別（跳馬）（体操）優勝の菊池柚子さん、バタフライ第４７回全国レディ―ス卓球大会（卓球）優勝の高橋道子さん、全日本パワーリフティング選手権大会「第３０回ジュニア・サブジュニアクラシック部門」ジュニア女子６３kg級（パワーリフティング）優勝の木田まこさん、全日本パワーリフティング選手権大会「第３０回ジュニア・サブジュニアクラシック部門」サブジュニア女子６９kg級（パワーリフティング）優勝の小西真央さんにスポーツ功労表彰を授与。
	４月	小学校３校に校内教育支援センターを追加設置。
		社団法人医学生物学電子顕微鏡技術学会より電子顕微鏡の寄贈。
	６月	全小学校の水泳指導を民間のスイミングスクールへ委託。
	９月	延命寺仏像、旧布佐観音堂仏像が市指定文化財に指定。
		第２次教育 ICT 基盤整備完了。
		小学校２校に校内教育支援センターを追加設置。全小中学校に配置が完了した。
	１２月	ミニ移動図書館めるへん号の運行を開始。
令和８年	３月	生成 AI パイロット校事業指定箇所として採択。
		鳥の鳴き声体験装置をクラウドファンディングにて設置。
		２０２５Asian African Pacific POWERLIFTING&BENCH PRESS CHAMPIONSHIPS （Classic&Equipped）（パワーリフティング）ジュニア総合２位の木田まこさん、IPF２０２５世界クラシック・エクイップベンチプレス選手権大会クラシック・エクイップ４７kg級（パワーリフティング）優勝の小関未樹さん、令和７年度全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会 三笠宮賜牌 第７２回全国高等学校レスリング選手権大会（レスリング）優勝の木村美海さん、令和７年度全国高等学校総合体育大会体操競技・新体操大会兼全国高等学校体操競技・新体操選手権大会 跳馬（体操）優勝の菊池柚子さん、２０２５Asian African Pacific POWERLIFTING&BENCH PRESS CHAMPIONSHIPS(Classic&Equipped)クラシックジュニア７６kg級（パワーリフティング）優勝の小西真央さん、バタフライ 第４８回全国レディース卓球大会（卓球）優勝の高橋道子さん、第４３回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会６９kg級（パワーリフテ

令和８年	３月	ィング）優勝の光井蒼さん、第２４回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ」卓球競技（卓球）優勝の松岡弘醍さん、第２４回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ」陸上競技 走幅跳（陸上）優勝の加茂川隆文さん、第４回全国冬季選抜シニアソフトテニス大会（ソフトテニス）の小笠原敬之さん、文部科学大臣杯争奪 第５２回全日本学生パワーリフティング選手権大会 ５２kg級（パワーリフティング）優勝の皆川美咲さん、第２４回全国障害者スポーツ大会「わた SHIGA 輝く障スポ」水泳競技５０ｍバタフライ（水泳）優勝の上村温さんにスポーツ功労表彰を授与。
	４月	めるへん文庫事業を文化・スポーツ課から図書館に移管。
		全小学校の学校給食費を無償化。

我孫子の教育　令和８年度版

令和８年１１月発行

編　集　　教育総務部総務課
発　行　　我孫子市教育委員会

我孫子市我孫子１６８４番地
電話０４−７１８５−１１１０